

第1回とやまの森づくり推進方策・財源検討委員会参考資料集

「水と緑の森づくりに関する県民意識調査」 報告書 P 1  
「森づくりに関する森林所有者アンケート」

用 語 集 P 8 7

平成17年11月1日

「水と緑の森づくりに関する県民意識調査」  
「森づくりに関する森林所有者アンケート」

報 告 書

平成 17 年 10 月

富 山 県

## 目 次

### は し が き

#### この冊子のみかた

### 第1章 「水と緑の森づくりに関する県民意識調査」の結果

調査の概要 .....	6 ~ 9
1 調査の目的	
2 調査の項目	
3 調査の設計	
4 調査機関	
5 回収の結果	
6 回収された標本の特性	
調査結果の概要 .....	10 ~ 30
調査結果の数表 .....	31 ~ 36

### 第2章 「森づくりに関する森林所有者アンケートの結果」

調査の概要 .....	38 ~ 40
1 調査の目的	
2 調査の項目	
3 調査の設計	
4 調査機関	
5 回収の結果	
6 回収された標本の特性	
調査結果の概要 .....	41 ~ 67
調査結果の数表 .....	68 ~ 75

使用した調査票 .....	77 ~ 86
---------------	---------

## は し が き

この報告書は、平成17年7月から8月にかけて実施した「水と緑の森づくりに関する県民意識調査」及び「森づくりに関する森林所有者アンケート」の結果をまとめたものです。

この調査は、一般県民や県内に森林を所有しておられる皆様の「とやまの森林」に対する現状認識や保全・管理のあり方、森づくりへの参加意識などを把握し、豊かで美しい「とやまの森林」を荒廃から守り、未来に引き継ぐための対策について検討するために行いました。

なお、ご利用の際は、さらに数表を細かく分析されるなど、十分ご活用いただきたいと存じます。

平成17年10月

富山県農林水産部長  
寺 林 敏

#### この冊子のみかた

- 1．結果は百分比で表示した。その百分比は少数第2位を四捨五入した。したがって個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
- 2．図表中に「N」と記してあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率（%）が何人の回答に相当するかと示す比率算出の基数である。
- 3．図表中に「M.T.(Multiple Total)」と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答(複数回答)を求めた場合の回答数の合計を回答者数(N)で割った比率であり、その値は100%を超える。
- 4．図表中に「NA」と記してあるのは、回答しなかった人の百分比を示している。

## 第 1 章

「水と緑の森づくりに関する県民意識調査」の結果

## 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、森林に対する認識や保全・管理のあり方、森林づくりへの参加意向など県民の意識をとらえ、本県の森林を県民全体で支えていくための仕組みづくりを検討するための基礎資料とすることを目的に実施した。

### 2 調査の項目

- (1) 森林の機能について
- (2) 森林の現状について
- (3) 森林の機能を維持するための取組みについて
- (4) 森林づくりへの県民の参加意識
- (5) 森林づくりのための新しい税について
- (6) 森林づくりのための費用負担について
- (7) 自由記述意見

### 3 調査の設計

- (1) 調査地域 富山県全域
- (2) 調査対象 満 20 歳以上の男女
- (3) 標本数 2,500
- (4) 抽出方法 住民基本台帳より単純無作為抽出
- (5) 調査期間 平成 17 年 7 月 30 日～8 月 8 日
- (6) 調査方法 郵送返送方式

### 4 調査機関

(株)スカイインテック

### 5 回収の結果

- (1) 標本数 2,500(100.0%)
- (2) 回収数 1,289( 51.6%)

## 6 回収された標本の特徴

### (1)性別

	区 分	件 数	割合 (%)
1	男 性	619	48.0
2	女 性	661	51.3
	不 明	9	0.7
	合 計	1,289	100.0

### (2)年齢

	区 分	件 数	割合 (%)
1	20～29歳	91	7.1
2	30～39歳	178	13.8
3	40～49歳	177	13.7
4	50～59歳	357	27.7
5	60～69歳	247	19.2
6	70歳以上	238	18.5
	不 明	1	0.1
	合 計	1,289	100.0

### (3)職業

	区 分	件 数	割合 (%)
1	農林漁業	61	4.7
2	自営業	120	9.3
3	給与所得者	590	45.8
4	主婦	228	17.7
5	学生	13	1.0
6	無職	266	20.6
	不 明	11	0.9
	合 計	1,289	100.0

### (4)居住環境

	区 分	件 数	割合 (%)
1	市街地、郊外	867	67.3
2	農山村地域	414	32.1
	不 明	8	0.6
	合 計	1,289	100.0

### (5)森林の所有

	区 分	件 数	割合 (%)
1	持っている	269	20.9
2	持っていない	1011	78.4
	不 明	9	0.7
	合 計	1,289	100.0



## (6) - 1 居住市町村(旧市)

	区 分	件 数	割合(%)
1	富山市(旧富山市)	369	28.6
2	富山市(旧大沢野町)	20	1.6
3	富山市(旧大山町)	11	0.9
4	富山市(旧八尾町)	28	2.2
5	富山市(旧婦中町)	30	2.3
6	富山市(旧山田村)	2	0.2
7	富山市(旧細入村)	3	0.2
8	高岡市	180	14.0
9	新湊市	37	2.9
10	魚津市	61	4.7
11	氷見市	51	4.0
12	滑川市	32	2.5
13	黒部市	32	2.5
14	砺波市(旧砺波市)	49	3.8
15	砺波市(旧庄川町)	20	1.6
16	小矢部市	36	2.8
17	南砺市(旧城端町)	15	1.2
18	南砺市(旧平村)	7	0.5
19	南砺市(旧上平村)	11	0.9
20	南砺市(旧利賀村)	11	0.9
21	南砺市(旧井波町)	8	0.6
22	南砺市(旧井口村)	4	0.3
23	南砺市(旧福野町)	15	1.2
24	南砺市(旧福光町)	24	1.9
25	舟橋村	3	0.2
26	上市町	25	1.9
27	立山町	37	2.9
28	宇奈月町	4	0.3
29	入善町	46	3.6
30	朝日町	22	1.7
31	小杉町	40	3.1
32	大門町	17	1.3
33	下 村	4	0.3
34	大島町	11	0.9
35	福岡町	22	1.7
	不 明	2	0.2
	合 計	1,289	100.0

## (6) - 2 新市

	区分	件数	割合(%)	送付数	返送率(%)
1	富山市	463	35.9	944	49.0
2	高岡市	180	14.0	382	47.1
3	新湊市	37	2.9	82	45.1
4	魚津市	61	4.7	105	58.1
5	氷見市	51	4.0	125	40.8
6	滑川市	32	2.5	75	42.7
7	黒部市	32	2.5	81	39.5
8	砺波市	69	5.4	108	63.9
9	小矢部市	36	2.8	77	46.8
10	南砺市	95	7.4	133	71.4
11	舟橋村	3	0.2	5	60.0
12	上市町	25	1.9	52	48.1
13	立山町	37	2.9	63	58.7
14	宇奈月町	4	0.3	14	28.6
15	入善町	46	3.6	62	74.2
16	朝日町	22	1.7	35	62.9
17	小杉町	40	3.1	72	55.6
18	大門町	17	1.3	28	60.7
19	下村	4	0.3	5	80.0
20	大島町	11	0.9	22	50.0
21	福岡町	22	1.7	30	73.3
	不明	2	0.2		
	合計	1,289	100.0	2,500	51.6

## (6) - 3 市郡(旧35市町村区分)

	区分	件数	割合(%)
1	市部	847	65.7
2	郡部	440	34.1
	不明	2	0.2
	合計	1,289	100.0

## (6) - 4 地域

	区分	件数	割合(%)	送付数	返送率(%)
1	富山地域	463	35.9	944	49.0
2	高岡地域	340	26.4	716	47.5
3	魚津地域	262	20.3	492	53.3
4	砺波地域	222	17.2	348	63.8
	不明	2	0.2		
	合計	1,289	100.0	2,500	51.6

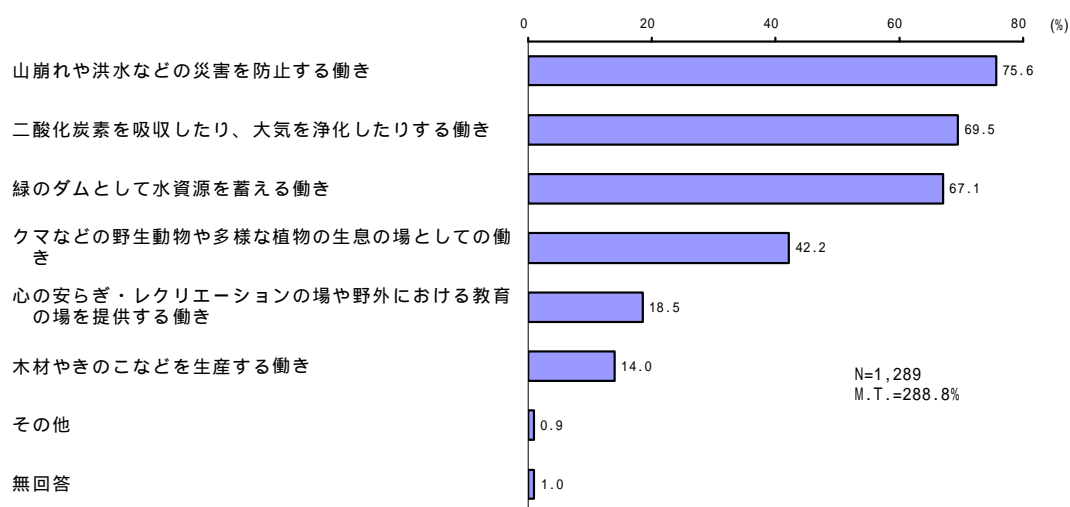
地域区分 富山地域 = 富山市  
 高岡地域 = 高岡市、新湊市、氷見市、射水郡  
 魚津地域 = 魚津市、滑川市、黒部市、中新川郡、下新川郡  
 砺波地域 = 砺波市、南砺市

## 調査結果の概要

### 【森林に期待する機能について】

問1 森林の持つ多様な機能のうち、今後とも重点的に守っていくべきものは、どのようなものだと思いますか。次の中から3つまであげてください。

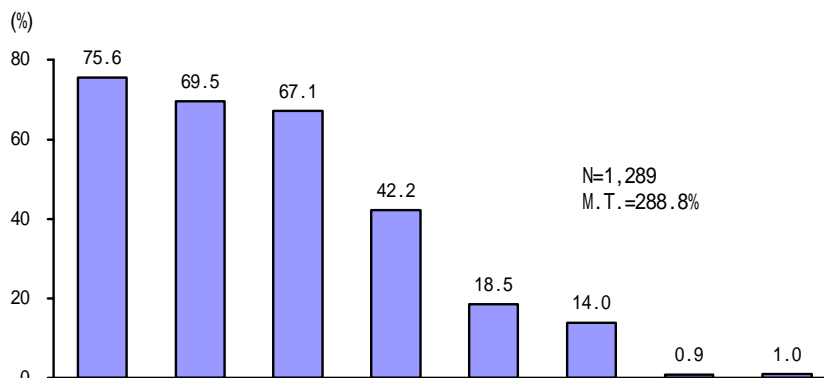
図表1 重点的に守っていくべき森林の機能



	回答数	割合 (%)
1. 木材やきのこなどを生産する働き	181	14.0
2. 緑のダムとして水資源を蓄える働き	865	67.1
3. 山崩れや洪水などの災害を防止する働き	975	75.6
4. 二酸化炭素を吸収したり、大気を浄化したりする働き	896	69.5
5. クマなどの野生動物や多様な植物の生息の場としての働き	544	42.2
6. 心の安らぎ・レクリエーションの場や野外における教育の場を提供する働き	239	18.5
7. その他	11	0.9
無回答	13	1.0
計	1,289	

災害防止、水資源のかん養、二酸化炭素の吸収など、森林の公益的機能の働きへの回答が70%前後と高く、次いで、野生動植物の生息の場となっており、木材生産については14%となっている。

属性別の傾向



		総数	災害崩れ防止水など	たたり、大気浄化	源を蓄え、水質	のやクマなどの野生動物	供する働き	エの安らぎ・レクリ	心	生木産材のこなどを	その他	無回答
性別	男性	619	72.4	69.5	72.9	37.3	19.7	14.9	1.6	0.8		
	女性	661	78.8	69.7	62.2	47.0	17.4	13.2	0.2	1.1		
年齢	20~29歳	91	65.9	81.3	57.1	56.0	17.6	7.7	-	1.1		
	30~39歳	178	65.2	75.8	60.7	50.6	20.2	15.2	0.6	0.6		
	40~49歳	177	70.1	69.5	63.3	57.6	16.9	12.4	1.1	0.6		
	50~59歳	357	82.4	68.1	69.2	42.3	17.6	10.4	0.3	0.8		
	60~69歳	247	80.6	66.4	66.8	38.5	20.2	14.6	0.8	0.8		
	70歳以上	238	76.1	65.5	76.1	22.7	18.5	21.8	2.1	2.1		
職業	農林漁業	61	83.6	62.3	78.7	21.3	14.8	26.2	1.6	-		
	自営業	120	78.3	68.3	70.8	40.0	16.7	13.3	1.7	1.7		
	給与所得者	590	73.7	73.4	64.7	49.3	17.6	10.7	0.7	0.7		
	主婦	228	78.9	65.8	61.8	42.5	21.9	17.5	-	0.4		
	学生	13	69.2	69.2	76.9	38.5	23.1	-	-	-		
	無職	266	74.4	67.3	72.6	32.0	18.4	16.2	1.5	2.3		
環境住	市街地、郊外	867	76.8	71.3	65.1	42.6	18.9	13.0	0.9	0.8		
	農山村地域	414	73.9	65.7	71.7	41.5	17.9	16.4	0.7	1.2		
林所有	持っている	269	70.6	65.8	71.4	36.1	19.7	18.2	1.1	1.1		
	持っていない	1,011	77.1	70.6	66.0	43.9	18.1	12.9	0.8	1.0		
市郡	市部	847	75.2	70.8	65.1	43.2	19.1	13.2	1.1	0.8		
	郡部	440	76.6	67.0	71.4	40.2	17.5	15.7	0.5	1.1		
地域	富山地域	463	77.8	70.8	65.0	43.4	18.1	10.8	1.1	1.1		
	高岡地域	340	72.9	72.1	65.6	38.8	21.5	16.2	0.9	1.2		
	魚津地域	262	79.8	64.1	68.3	44.3	17.6	14.1	0.4	1.2		
	砺波地域	222	70.7	69.4	73.0	42.3	16.2	17.6	0.9	-		

災害防止、水資源の涵養は、属性による差はあまり見られず、すべての属性で選択される割合は高くなっている。

二酸化炭素の吸収については、20~29歳で81.3%で第1位となるなど、若年齢ほど選

択の割合が高くなっている。

一方、野生動植物の生息の場については、70歳以上で22.7%となるなど、高齢者ほど低率である。

森林の所有別で見ると、森林を持っている人は木材生産等が高く、公益的機能を選択した人の割合が低くなっている。森林を持っていない人はその逆の傾向がみられる。

「その他」の意見

「その他」として、8件の自由記述意見が出された。

以下に、主なものを列挙する。

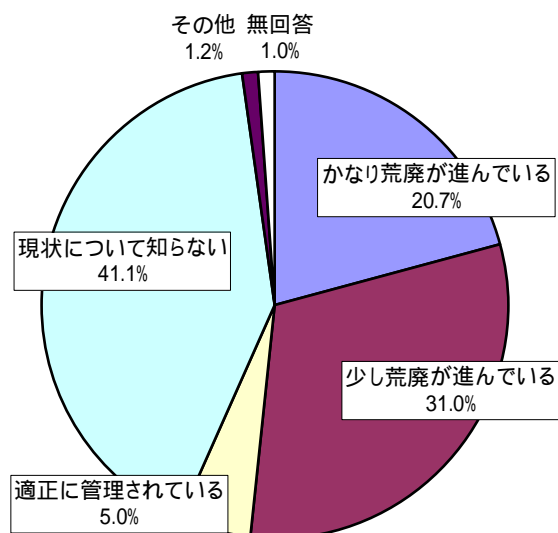
- ・全て必要な事項で、3点に限定することはできない。
- ・海洋資源を蓄える働き。

【森林の現状について】

問2 あなたは、富山県内の森林の現状をどう思いますか。

次の中から1つあげてください。

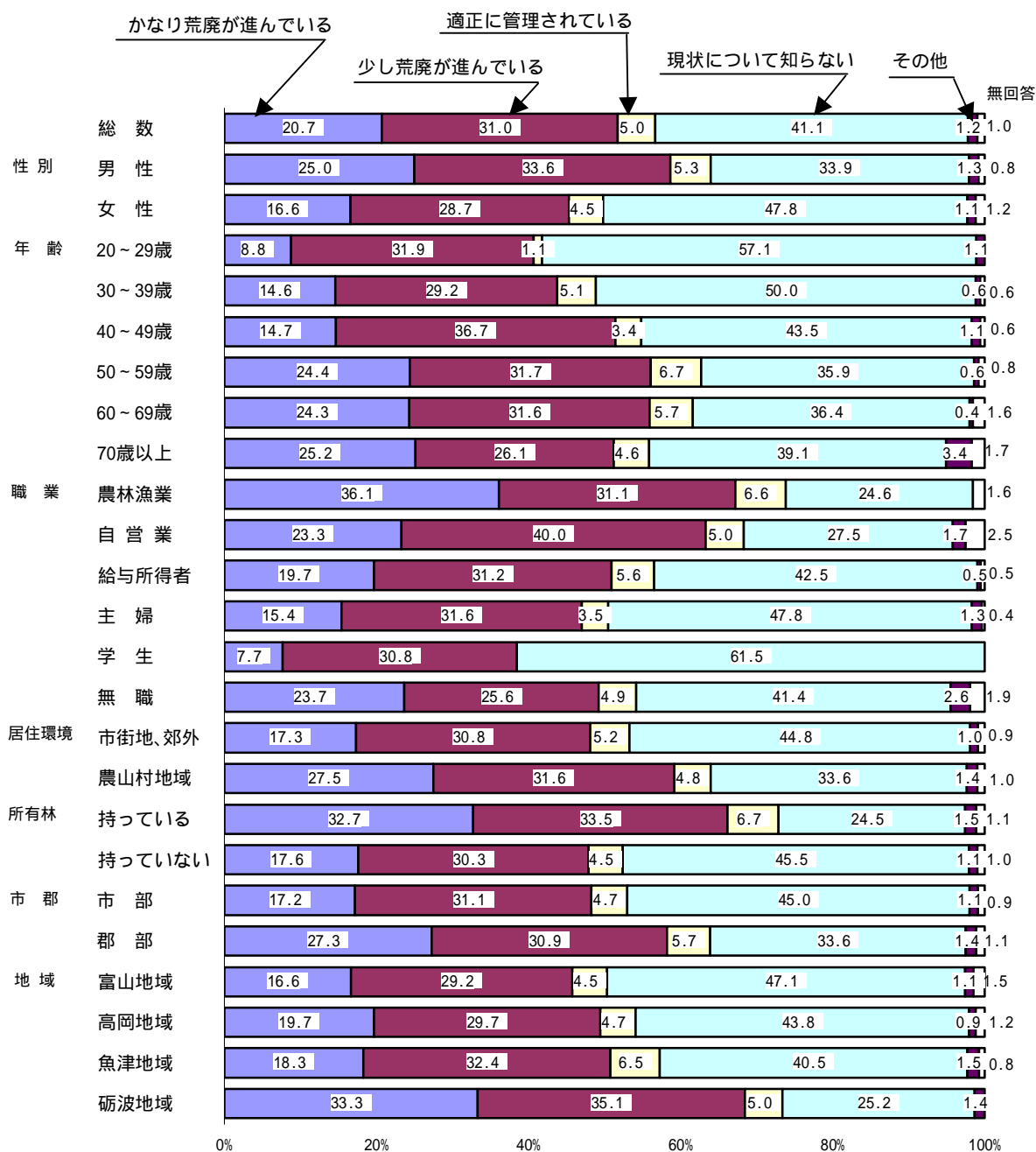
図表2 森林の現状について



	回答数	割合 (%)
1．かなり荒廃が進んでいる	267	20.7
2．少し荒廃が進んでいる	399	31.0
3．適正に管理されている	65	5.0
4．現状について知らない	530	41.1
5．その他	15	1.2
無回答	13	1.0
計	1,289	100.0

「少し荒廃が進んでいる」、「かなり荒廃が進んでいる」をあわせると 51.7%が荒廃していると感じている一方、41.1%が「現状について知らない」となっている。

## 属性別の傾向



属性別に見ると、「荒廃が進んでいる」と答えた人の割合は、性別では男性、年齢別では高齢者、職業別では農林漁業、居住環境では農山村地域、森林の所有別では所有している人で高い傾向が見られ、一方、「現状について知らない」と答えた人は、性別では女性、年齢別では若年者、職業別では学生、主婦、居住環境では市街地、郊外、森林の所有別では所有していない人で割合が高い傾向が見られる。

#### 「その他」の意見

「その他」として、21件（全体の1.6%）の自由記述意見が出された。

主な意見としては、「台風被害が放置状態」「所有者による管理が不足」と荒廃を感じている意見がある一方で、「報道による情報のみ」「全くわからない」と現状についてよく知らないという意見も見られた。

以下に、主なものを列挙する。

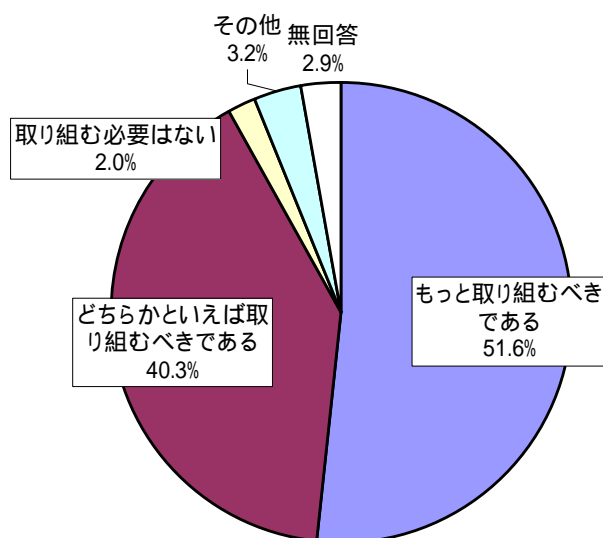
- ・ ドングリの木を植える活動などが少しずつ行われてきているので、良い方向に進んでいるのではないか。
- ・ 倒木などの台風被害が放置状態。（3件）
- ・ 所有者による管理がなされていない。（2件）
- ・ 適正に管理されていないと思う。
- ・ 竹林の荒廃が目立つ。
- ・ 報道等から荒廃は感じているが、現状については分からない。



【県民参加の森林づくりについて】

問3 水源かん養や災害防止など森林の持つ機能を維持するためには、森林所有者や行政だけでなく、県民参加による広葉樹の植林や下草刈りなどの森林整備、森林ボランティアへの支援（機材の貸与、苗木の提供、研修の実施）などが求められています。あなたは、このような取り組みについてどう思いますか。次の中から1つあげてください。

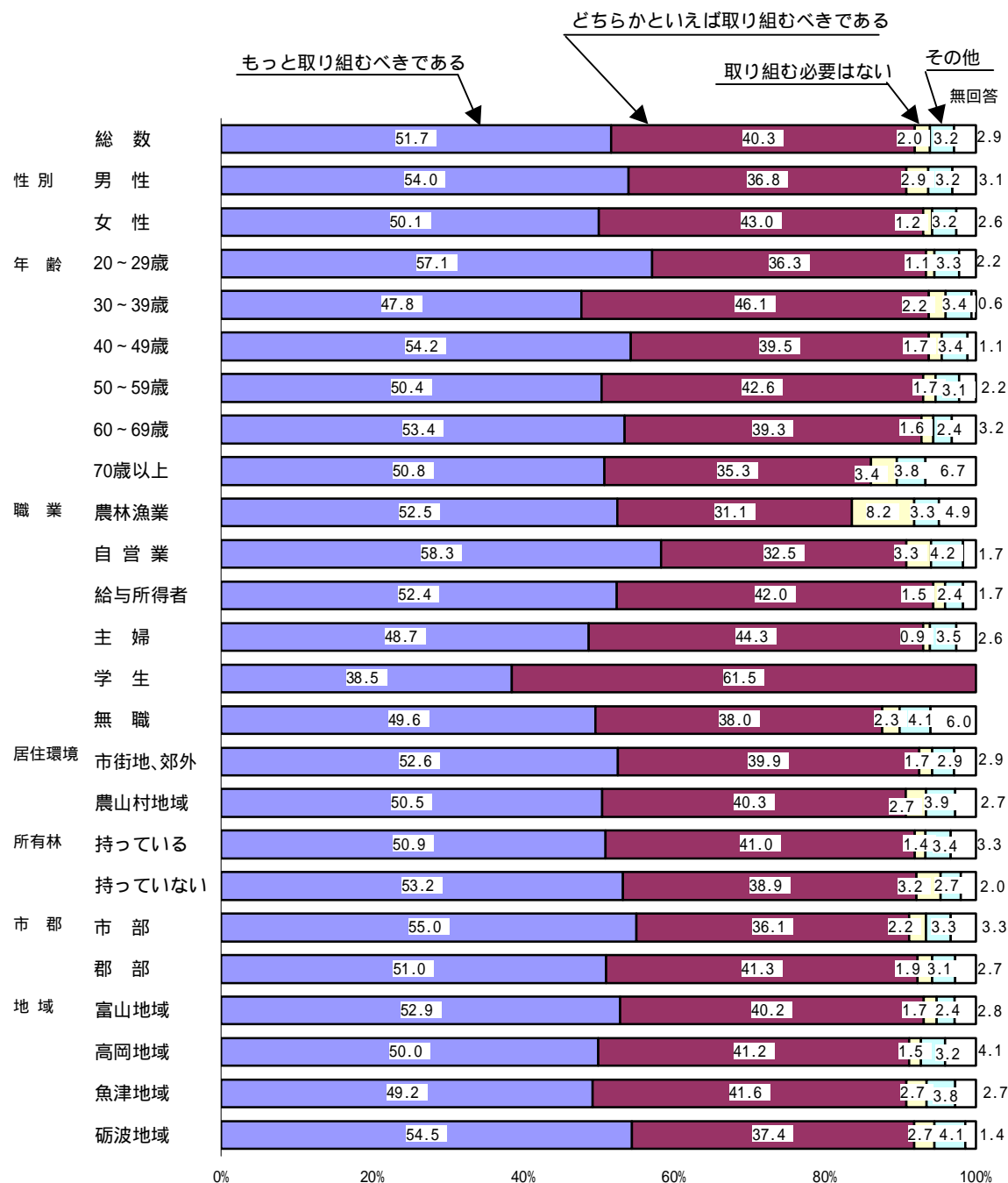
図表3 森林の機能を維持するための取り組みについて



	回答数	割合 (%)
1. もっと取り組むべきである	666	51.6
2. どちらかといえば取り組むべきである	519	40.3
3. 取り組む必要はない	26	2.0
4. その他	41	3.2
無回答	37	2.9
計	1,289	100.0

「もっと取り組むべきである」「どちらかといえば取り組むべきである」をあわせると91.9%が県民参加の森林づくりの必要性を認めている。

## 属性別の傾向



属性による特徴は特に見受けられず、いずれの属性においても、「もっと取り組むべきである」「どちらかといえば取り組むべきである」の割合が高く県民参加の森林づくりの必要性を認めている。

## 「その他」の意見

「その他」として、38件（全体の2.9%）の意見や要望が出された。

主な内容は「ボランティアではなく、もっと組織的に」あるいは「森林所有者が自己責任」でそれぞれ取り組むことを求める意見が多くなっているほか、森林づくりに係る「情報の提供」が求められている。

以下に、主な意見を列挙する。

### 【ボランティアに関するもの】

- ・ボランティア方式ではなく、抜本的な改革が必要。
- ・ボランティアよりプロの育成が必要。
- ・ボランティアでは一時的になるので、県が整備、管理していくべき。
- ・ボランティアでは広大な森林に挑んでも効果はないし、長続きしない。やらないよりやった方がいい、というレベルにしかない。
- ・ボランティアによる整備状況は把握していないが、荒廃林の整備は継続的かつ組織的に行っていくべき。

### 【森林所有者に関するもの】

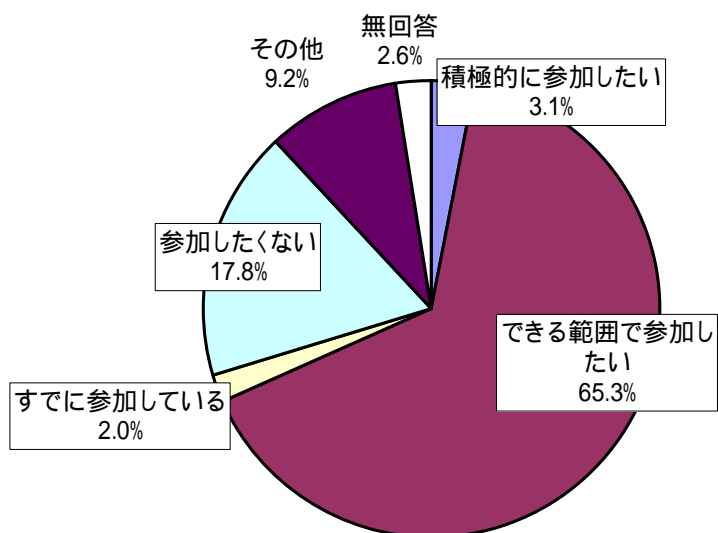
- ・所有者は自分で守るべき。
- ・森林所有者が自己責任でやるべき。（等8件）

### 【情報提供に関するもの】

- ・水源かん養機能をもっとPRした上で取り組むべき。
- ・森林づくりに関する情報・認識不足でわからない。
- ・行政が企画して、県民やボランティアの人にもっと働きかけをするべきではないか。

問4 あなたは、森林づくりに参加してみたいと思いますか。  
次の中から1つあげてください。

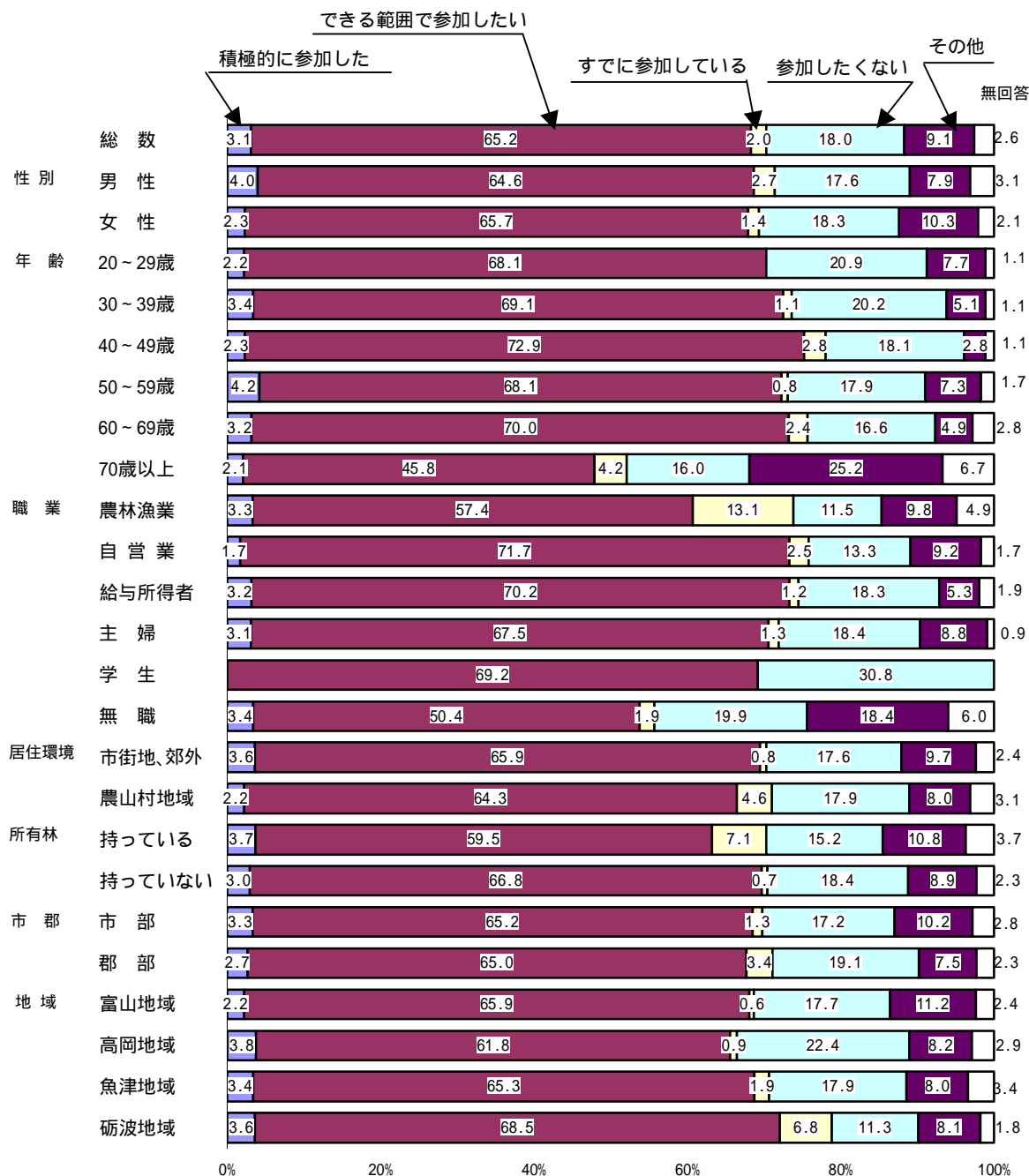
図表4 森林づくりへの県民の参加意識



	回答数	割合 (%)
1. 積極的に参加したい	40	3.1
2. できる範囲で参加したい	840	65.3
3. すでに参加している	26	2.0
4. 参加したくない	230	17.8
5. その他	119	9.2
無回答	34	2.6
計	1,289	100.0

「積極的に参加したい」「できる範囲で参加したい」「すでに参加している」をあわせると、70.4%が森林づくりへの参加に前向きである。

## 属性別の傾向



属性別に見ると、「積極的に参加したい」「できる範囲で参加したい」「すでに参加している」をあわせた割合が70歳以上で52.1%と他の年齢層と比較して低くなっている。また、「参加したくない」とした割合が学生で高くなっている。

#### 「その他」の意見

「その他」について、110件（全体の8.5%）の意見が出された。

そのほとんどが「高齢のため、参加したいができない」となっており、「体力がない」、「身体が不自由」、「病気」などが重複理由となっている。

また、「自分の森林の管理で精一杯」、「森づくりの知識がない」との意見も見られた。

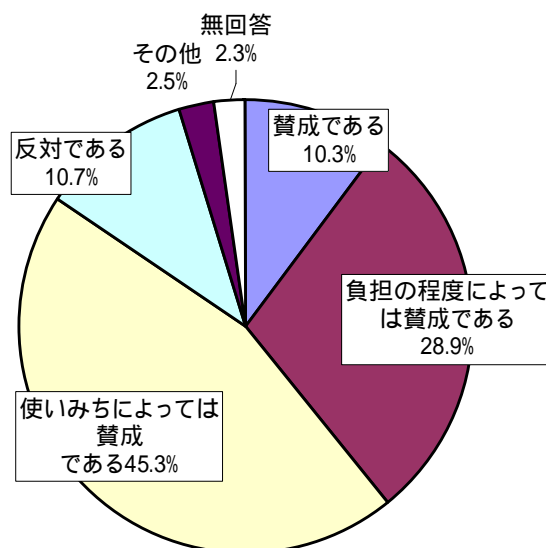
以下に、主な意見を列挙する。

- ・できることが何か分からない。
- ・年齢、体力からみて、直接参加は無理なので、間接的に協力したい。
- ・もっと若ければ。
- ・自分の山の管理で精一杯で、他に参加しにくい。
- ・何の知識もないので、分からない。
- ・木材に価値がなくなっているのでしたくない。
- ・森林づくりというと大掛かりな気がする。女性でも出来るのかわからない。

【森林づくりのための財源の充実について】

問5 富山県の森林を守り育てるために新しい税をつくることについてどう思いますか。  
次の中から1つあげてください。

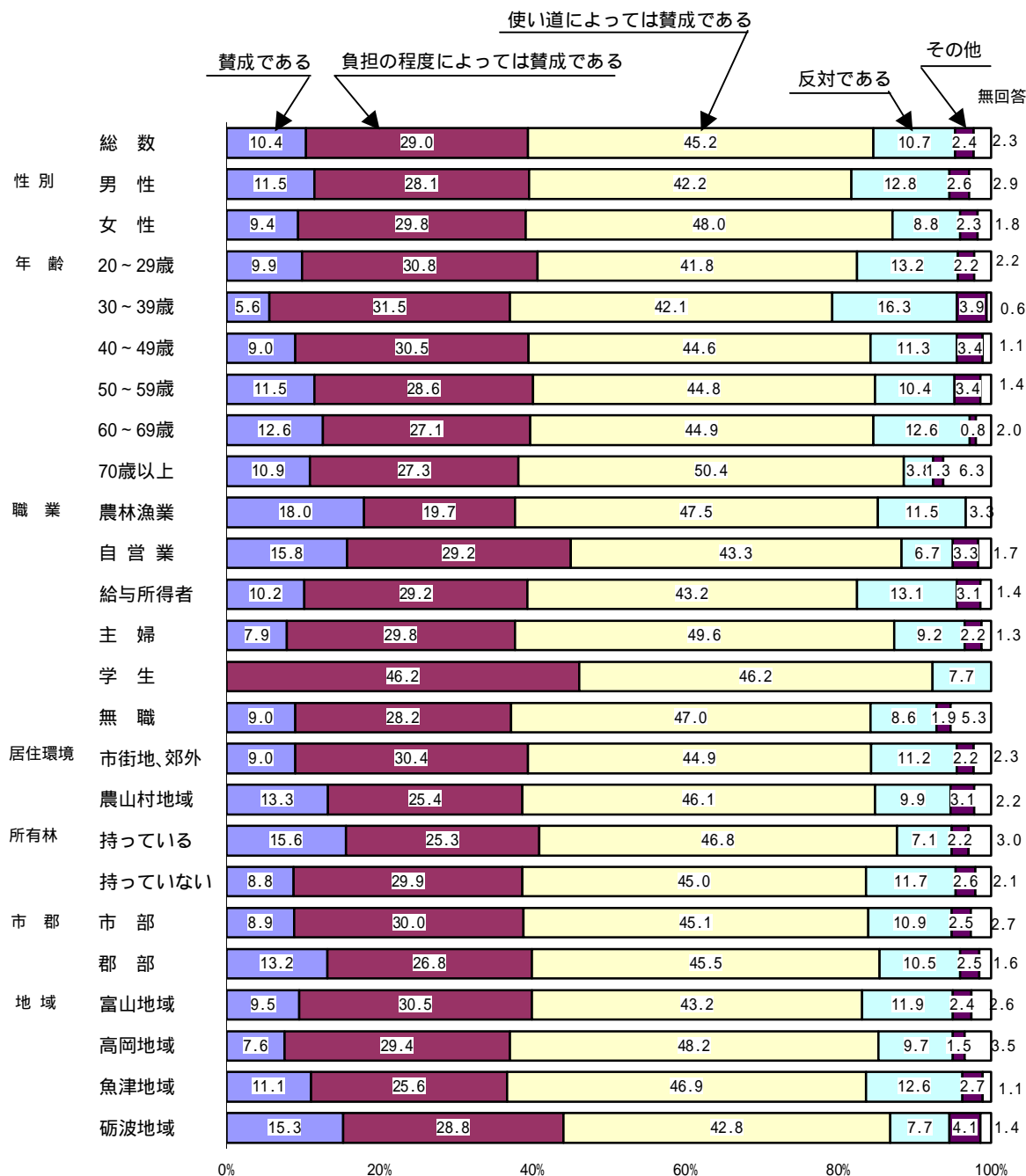
図表5 森林づくりのための新税の創設について



	回答数	割合 (%)	
1．賛成である	133	10.3	84.5
2．負担の程度によっては賛成である	372	28.9	
3．使いみちによっては賛成である	584	45.3	
4．反対である	138	10.7	
5．その他	32	2.5	
無回答	30	2.3	
計	1,289	100.0	

「賛成である」「負担の程度によっては賛成である」「使いみちによっては賛成である」をあわせると84.5%が森林を守り育てる新しい税の導入に賛成しており、「反対である」は10.7%となっている。また、使いみちについての関心が高い。

## 属性別の傾向



属性別に見ると、どの属性でも「賛成である」「負担の程度によっては賛成である」「使いみちによっては賛成である」が高い割合となっているが、「反対である」を選んだ割合が、性別では男性、年齢別では39歳以下の若年層で若干高くなっている。



## 「その他」の意見

「その他」意見では、52件（全体の4.0%）の意見、要望が出された。

主の内容は、「負担の方法によっては賛成」、「適正な使用、情報の開示が条件」等、「条件によっては賛成」とする意見や、「既存事業の見直しで」、「税に代わる方法で」の意見が多くなっている。

以下に、主な意見を列挙する。

### 【条件によっては賛成】

- ・賛成だが、負担できる人とできない人がいると思う。
- ・基本的には賛成だが、個人への課税ではなく、山の恩恵を受けている産業に課税することから始めたほうが良い。
- ・負担の方法によっては賛成。
- ・適正に使われることが必要条件。
- ・使用目的の明示が条件。
- ・透明性が重要。
- ・きちんとした説明を行い、県民の理解を得た上で実施するべき。

### 【既存事業の見直しで】

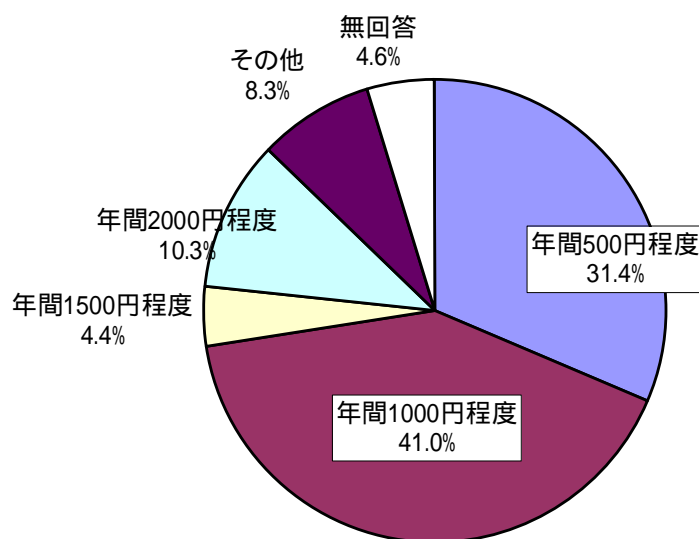
- ・新たな課税実施よりも、既存制度見直しで捻出するべき。
- ・税徴収より、税金の有効な使い道を考え直し、ムダな道路や建物の建設をやめて山のために使うべき。
- ・ムダな公共事業や県民の望まない出費を減らし、予算の枠内でやるべき。
- ・人員削減等で、財源を確保するべき。
- ・有効に使用されるか不安。まずは税金のムダを切りつめ、有効に使ってほしい。

### 【税に代わる方法で】

- ・税金に替わる方法を考えてほしい。
- ・財源確保が必要なのは分かるが、税という手段ではなく、他の方策を提示された方が素直に支援できる。

問6 県民が幅広く森林づくりに参加していくための税として、仮に、あなたが費用を分担するとしたら、年間どのくらいなら協力してもよいと思いますか。  
次の中から1つあげてください。

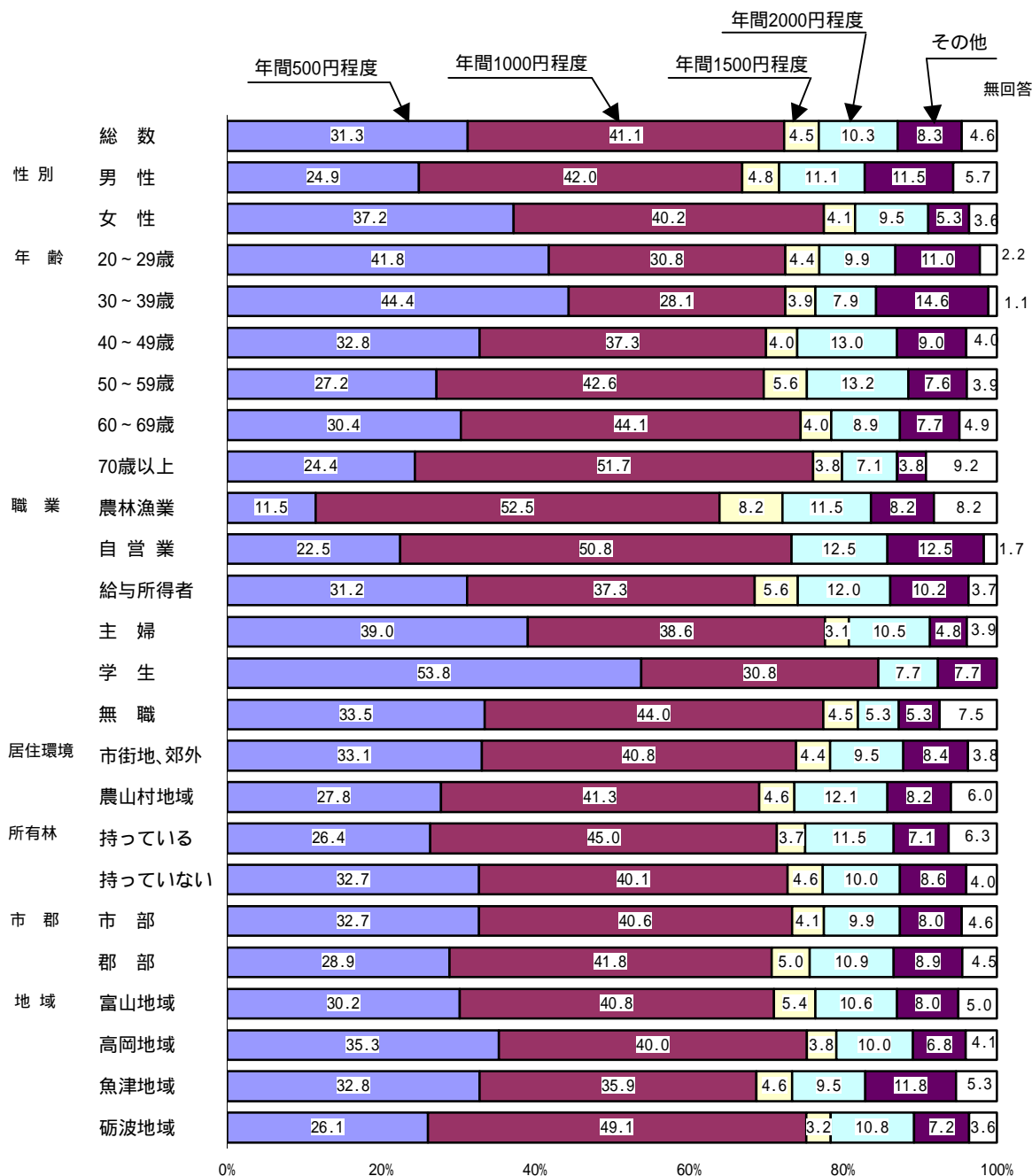
図表6 森林づくりのための費用負担について



	回答数	割合 (%)
1. 年間500円程度	405	31.4
2. 年間1000円程度	528	41.0
3. 年間1500円程度	57	4.4
4. 年間2000円程度	133	10.3
5. その他	107	8.3
無回答	59	4.6
計	1,289	100.0

「年間1000円程度」が41%と最も高く、次いで「年間500円程度」が31.4%となっている。年間1000円～2000円程度の累計では55.7%、年間500円～2000円程度の累計では87.1%となっている。

## 属性別の傾向



属性別に見ると、「年間500円程度」を選んだ割合は、性別では女性、年齢別では39歳以下の若年層、職業別では主婦、学生で高くなっている。

### 「その他」の意見

「その他」意見では、96件（全体の7.4%）の自由回答が出された。

その主な内容は、費用分担に協力してもよいとして、その具体的な金額を明示した回

答が29件と最も多く出されている。その中では「年間100円程度」とする人の割合が高くなっている。このほか、「新税に反対」意見が17件、「他の財源を確保」すべきとする意見が16件となっている。以下に主なものを列挙する。

**【協力できる費用負担額等について】**

- ・適正であればいくらでも。具体的には1~4万円。
- ・使用目的によっては、高額でもよい。
- ・年間6000円を平均とし、収入によって調整してはどうか。
- ・年間5000円~10000円。(3件)
- ・県民一人あたり平等に徴収すること。一人1100円で10億程度。
- ・年間200円~300円程度。(3件)
- ・年間100円程度。(6件)
- ・新設の税であるから、初期は低額がよい。
- ・使途や、規定の税の投入額との兼ね合いで決めるべき。

**【他の財源を確保】**

- ・他事業の経費を縮小してあてるべき。
- ・現在の県財政の中で財源を確保すべき。
- ・現在の税金による分担が望ましい。
- ・県単位ではなく、国の施策として取り組むべき。

**【新税に反対】**

- ・新たな負担に反対。(12件)
- ・特別に税をつくるのは反対。
- ・これ以上税金を増やしてほしくない。
- ・個人への負担強制は最後の手段にするべき。

## 【その他の自由記述意見】

問：その他のご意見がありましたら自由にお書きください。

森林づくりに対しては、421件（全体の32.7%）の意見、要望が出された。

主な内容は、県民に対する情報の提供や森林づくりに係る啓発活動を求める意見が最も多く出されている。次いで「新税・財政・費用等」、「森林の保全・管理と保全活動の推進」、「自然との共生」などに関する意見、要望が多くなっている。

### 森林づくりに関する自由意見内訳

項目	件数（件）	割合（％）	全回収数に対する割合（％）
1 情報の提供と啓発活動	96	22.8	7.4
2 新税・財政・費用等	81	19.2	6.3
3 森林の保全・管理と保全活動の推進	52	12.4	4.0
4 自然との共生	36	8.6	2.8
5 ボランティア	19	4.5	1.5
6 台風等による倒木の管理	14	3.3	1.1
7 森林づくり・木材事業の市場展開	13	3.1	1.0
8 組織・施設の整備拡充・管理	7	1.7	0.5
9 人材の育成	4	1.0	0.3
その他	99	23.5	7.8
計	421	100.0	32.7

以下に主なものを列挙する。

#### 【情報の提供と啓発活動】

- ・森林環境税の使い道を知らせてほしい
- ・県民に森林の大切さ、現状、森林づくり参加の必要性を知らせ、危機感を持ってもらうことが大切
- ・県民全体で自然環境を守ることが大切
- ・森林について考える機会がもっとあればよいと思う
- ・県の森林政策を県民にもっとPRする必要がある

#### 【新税・財政・費用等】

- ・県民から税徴収する前に、県職員の人員削減、事業見直し等、行政改革に取り組むべき
- ・森林づくりは賛成だが、そのための税金徴収には反対

- ・新しい税を設けなくても、事業の見直し、行政改革により財源を確保すべき

#### 【森林の保全・管理と保全活動の推進】

- ・森林対策は、長期的な視点での取り組みが必要
- ・森林を手入れし、安心して山と触れ合えるようにしてほしい
- ・機能重視の森林と、レクリエーションのための森林を分けてはどうか。
- ・花粉症が国民病となっている今、杉のみの植林には見直しが必要と思う。
- ・県民の力で広葉樹林を増やそう。
- ・現在残っているブナの原生林を育成、保全すべき。
- ・針葉樹が多すぎる。広葉樹とのバランスをとるべき。
- ・台風による倒木をリサイクルする方法を考え、処理の負担を減らしてほしい。

#### 【自然との共生】

- ・森の再生を促し、クマ対策を
- ・ドングリ、栗等の動物たちの食料となる木が段々減り、熊が里に下りてくるようになった
- ・カモシカによる被害も多く、総合的な里山整備と一部動物たちとの共存を考えつつ、森林の今後のあり方を検討すべき
- ・人間のためにも、動物のためにも森林保護は必要であり、早急に対策を講ずるべきだと思う
- ・道路の建設により山が削られて、木も育たない、動物の住処や食料がなくなり民家を荒らす等の被害が出ているのではないか。
- ・動植物のためには、何も手をつけない場所を残しておくべきではないか。
- ・単一種の植林から多様性のある森にして、動植物の生態に寄与すべき。
- ・これまでの杉植林の結果、保水機能が低下し、土砂の流出による崩壊に至る所で見受けられる。自然に逆らった開発を反省するべきである。

#### 【ボランティア】

- ・小・中・高生にボランティア活動を経験させていくことが大切である。
- ・森林ボランティア参加協力などをもっとPRしてはどうか。
- ・県や市町村で森林ボランティアへの参加を呼びかけ、関心を持たせる。
- ・既に全国に先駆けて行っている草刈り十字軍などに協力を募り、所有者は負担を考えるべき。
- ・森林の荒廃を防ぐため、各地域にボランティアが必要。定年後の方たちを中心としたボランティア団体で体制づくりをし、その団体に任せればよいのではないか。

#### 【台風等による倒木の管理】

- ・台風による倒木への対策を。
- ・台風被害が多く見受けられるが、所有者では手に負えない。早急に対策を。

- ・ 昨年の台風による倒木が放置され、景観を台無しにしている。

**【森林づくり・木材事業の市場展開】**

- ・ 外材に依存している現状では、荒廃がますます進むので、国内の木材の価格補填が必要ではないか。
- ・ 杉を売れる環境をつくり、広葉樹を植え、水害防止など多面的機能を活かしてほしい。
- ・ 木材の流通を整備することにより、個人所有の森林荒廃が防げるのではないか。

**【組織・施設の整備拡充・管理】**

- ・ ボランティア支援より、森林組合を支援し、強化すべき。
- ・ 山林を自由に通れる道を作ってほしい。
- ・ 今ある施設の有効利用を。

**【人材の育成】**

- ・ 私有地の管理能力を持つ人の高齢化が目立つ。担い手の育成が大切。
- ・ 適所に、市民による指導者を配置する。
- ・ 森林の維持にはボランティアだけでは限られるため、職業として対策を講じ、若年者を好条件で育てるべき。

調査結果の数表

【森林に期待する機能について】

問1 森林の持つ多様な機能のうち、今後とも重点的に守っていくべきものは、どのようなものだと思いますか。次の中から3つまであげてください。

	総数	木材やきのこなどを生産する働き	緑のダムとして水を蓄える働き	山崩れや洪水などの災害を防止する働き	二酸化炭素を吸収したり、大気を浄化する働き	クマなどの野生動物の場としての働き	心身の安らぎ・レクリエーションの場や野外における教育の場を提	その他	無回答		
総数	1,289	14.0	67.1	75.6	69.5	42.2	18.5	0.9	1.0		
性別	男性	619	14.9	72.9	72.4	69.5	37.3	19.7	1.6	0.8	
	女性	661	13.2	62.2	78.8	69.7	47.0	17.4	0.2	1.1	
	不明	9	22.2	33.3	66.7	55.6	22.2	-	-	11.1	
年齢別	20～29歳	91	7.7	57.1	65.9	81.3	56.0	17.6	-	1.1	
	30～39歳	178	15.2	60.7	65.2	75.8	50.6	20.2	0.6	0.6	
	40～49歳	177	12.4	63.3	70.1	69.5	57.6	16.9	1.1	0.6	
	50～59歳	357	10.4	69.2	82.4	68.1	42.3	17.6	0.3	0.8	
	60～69歳	247	14.6	66.8	80.6	66.4	38.5	20.2	0.8	0.8	
	70歳以上	238	21.8	76.1	76.1	65.5	22.7	18.5	2.1	2.1	
	不明	1	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	
本人職業	農林漁業	61	26.2	78.7	83.6	62.3	21.3	14.8	1.6	-	
	自営業	120	13.3	70.8	78.3	68.3	40.0	16.7	1.7	1.7	
	給与所得者	590	10.7	64.7	73.7	73.4	49.3	17.6	0.7	0.7	
	主婦	228	17.5	61.8	78.9	65.8	42.5	21.9	-	0.4	
	学生	13	-	76.9	69.2	69.2	38.5	23.1	-	-	
	無職	266	16.2	72.6	74.4	67.3	32.0	18.4	1.5	2.3	
	不明	11	27.3	54.5	72.7	45.5	45.5	36.4	-	-	
居住地	富山市(旧富山市)	369	10.6	64.5	77.8	70.5	43.4	18.2	1.1	1.4	
	富山市(旧大沢野町)	20	5.0	80.0	75.0	55.0	45.0	20.0	-	-	
	富山市(旧大山村)	11	-	81.8	72.7	63.6	63.6	18.2	-	-	
	富山市(旧八尾町)	28	17.9	60.7	78.6	75.0	46.4	21.4	-	-	
	富山市(旧婦中町)	30	10.0	60.0	80.0	90.0	33.3	10.0	3.3	-	
	富山市(旧山田村)	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	
	富山市(旧細入村)	3	-	66.7	100.0	33.3	66.7	33.3	-	-	
	高岡市	180	15.6	67.8	71.7	75.0	37.8	20.6	1.7	0.6	
	新湊市	37	10.8	56.8	75.7	64.9	37.8	40.5	-	-	
	魚津市	61	19.7	67.2	75.4	63.9	44.3	18.0	1.6	-	
	氷見市	51	13.7	66.7	78.4	68.6	51.0	9.8	-	2.0	
	滑川市	32	18.8	53.1	78.1	71.9	46.9	28.1	-	-	
	黒部市	32	3.1	68.8	87.5	62.5	46.9	9.4	-	-	
	砺波市(旧砺波市)	49	16.3	67.3	69.4	77.6	42.9	18.4	2.0	-	
	砺波市(旧庄川町)	20	25.0	60.0	80.0	65.0	50.0	15.0	-	-	
	小矢部市	36	19.4	63.9	55.6	72.2	55.6	16.7	-	-	
	南砺市(旧城端町)	15	6.7	86.7	80.0	73.3	40.0	6.7	-	-	
	南砺市(旧平村)	7	-	100.0	85.7	71.4	42.9	-	-	-	
	南砺市(旧上平村)	11	18.2	81.8	54.5	45.5	45.5	18.2	9.1	-	
	南砺市(旧利貴村)	11	27.3	90.9	90.9	45.5	18.2	27.3	-	-	
	南砺市(旧井波町)	8	25.0	62.5	75.0	75.0	37.5	12.5	-	-	
	南砺市(旧井口村)	4	25.0	100.0	75.0	50.0	50.0	-	-	-	
	南砺市(旧福野町)	15	13.3	66.7	73.3	80.0	40.0	13.3	-	-	
	南砺市(旧福光町)	24	20.8	75.0	70.8	62.5	50.0	20.8	-	-	
	舟橋村	3	-	100.0	66.7	100.0	33.3	-	-	-	
	上市町	25	4.0	88.0	84.0	44.0	64.0	16.0	-	-	
	立山町	37	13.5	73.0	89.2	67.6	35.1	13.5	-	2.7	
	宇奈月町	4	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	50.0	
	入善町	46	15.2	65.2	76.1	69.6	45.7	21.7	-	-	
	朝日町	22	22.7	68.2	77.3	59.1	36.4	18.2	-	-	
	小杉町	40	17.5	60.0	70.0	75.0	40.0	20.0	-	5.0	
	大門町	17	29.4	76.5	64.7	58.8	29.4	35.3	-	-	
	下村	4	25.0	50.0	100.0	75.0	25.0	-	-	-	
	大島町	11	27.3	63.6	72.7	72.7	18.2	18.2	-	-	
	福岡町	22	13.6	81.8	72.7	72.7	18.2	18.2	-	-	
	不明	2	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	
	環境住	市街地 郊外	867	13.0	65.1	76.8	71.3	42.6	18.9	0.9	0.8
		農村地域	414	16.4	71.7	73.9	65.7	41.5	17.9	0.7	1.2
		不明	8	-	50.0	37.5	75.0	37.5	12.5	-	12.5
	林所有	持っている	269	18.2	71.4	70.6	65.8	36.1	19.7	1.1	1.1
		持っていない	1,011	12.9	66.0	77.1	70.6	43.9	18.1	0.8	1.0
		不明	9	22.2	66.7	66.7	55.6	33.3	33.3	-	-



【森林の現状について】

問2 あなたは、富山県内の森林の現状をどう思いますか。  
次の中から1つあげてください。

	総数	進かなり荒廃が	少し荒廃が進	適切に管理さ	現状について	その他	無回答	
総数	1,289	20.7	31.0	5.0	41.1	1.2	1.0	
性別	男性	619	25.0	33.6	5.3	33.9	1.3	0.8
	女性	661	16.6	28.7	4.5	47.8	1.1	1.2
	不明	9	22.2	11.1	22.2	44.4	-	-
年齢別	20～29歳	91	8.8	31.9	1.1	57.1	1.1	-
	30～39歳	178	14.6	29.2	5.1	50.0	0.6	0.6
	40～49歳	177	14.7	36.7	3.4	43.5	1.1	0.6
	50～59歳	357	24.4	31.7	6.7	35.9	0.6	0.8
	60～69歳	247	24.3	31.6	5.7	36.4	0.4	1.6
	70歳以上	238	25.2	28.1	4.6	39.1	3.4	1.7
	不明	1	-	-	-	100.0	-	-
本人職業	農林漁業	61	36.1	31.1	6.6	24.6	-	1.6
	自営業	120	23.3	40.0	5.0	27.5	1.7	2.5
	給与所得者	590	19.7	31.2	5.6	42.5	0.5	0.5
	主婦	228	15.4	31.6	3.5	47.8	1.3	0.4
	学生	13	7.7	30.8	-	61.5	-	-
	無職	266	23.7	25.6	4.9	41.4	2.6	1.9
	不明	11	18.2	36.4	9.1	36.4	-	-
	居住地	富山市(旧富山市)	369	14.9	28.2	4.6	49.6	1.1
富山市(旧大沢野町)	20	25.0	40.0	10.0	20.0	-	5.0	
富山市(旧大山町)	11	45.5	9.1	-	45.5	-	-	
富山市(旧八尾町)	28	25.0	39.3	7.1	28.6	-	-	
富山市(旧綿中町)	30	13.3	30.0	-	53.3	3.3	-	
富山市(旧山田村)	2	50.0	50.0	-	-	-	-	
富山市(旧細入村)	3	-	33.3	-	66.7	-	-	
高岡市	180	16.1	33.9	3.9	44.4	1.1	0.6	
新湊市	37	10.8	24.3	10.8	54.1	-	-	
魚津市	61	13.1	42.6	4.9	39.3	-	-	
氷見市	51	33.3	21.6	3.9	37.3	2.0	2.0	
滑川市	32	12.5	18.8	9.4	56.3	3.1	-	
黒部市	32	12.5	40.6	3.1	40.6	3.1	-	
砺波市(旧砺波市)	49	20.4	40.8	4.1	34.7	-	-	
砺波市(旧庄川町)	20	40.0	35.0	5.0	15.0	5.0	-	
小矢部市	36	41.7	36.1	2.8	19.4	-	-	
南砺市(旧城端町)	15	20.0	40.0	6.7	33.3	-	-	
南砺市(旧平村)	7	28.6	71.4	-	-	-	-	
南砺市(旧上平村)	11	27.3	45.5	9.1	18.2	-	-	
南砺市(旧利賀村)	11	45.5	18.2	27.3	-	9.1	-	
南砺市(旧井波町)	8	-	37.5	-	62.5	-	-	
南砺市(旧井口村)	4	-	50.0	-	50.0	-	-	
南砺市(旧福野町)	15	33.3	26.7	-	33.3	6.7	-	
南砺市(旧福光町)	24	54.2	25.0	8.3	12.5	-	-	
舟橋村	3	33.3	-	-	66.7	-	-	
上市町	25	16.0	40.0	12.0	28.0	4.0	-	
立山町	37	18.9	32.4	8.1	35.1	2.7	2.7	
宇奈月町	4	25.0	-	-	50.0	-	25.0	
入善町	46	19.6	26.1	8.7	45.7	-	-	
朝日町	22	45.5	27.3	-	27.3	-	-	
小杉町	40	17.5	35.0	2.5	40.0	-	5.0	
大門町	17	23.5	29.4	11.8	35.3	-	-	
下村	4	50.0	-	-	50.0	-	-	
大島町	11	36.4	9.1	-	54.5	-	-	
福岡町	22	45.5	22.7	-	31.8	-	-	
不明	2	50.0	-	-	50.0	-	-	
環境居住	市街地 郊外	867	17.3	30.8	5.2	44.8	1.0	0.9
	農山村地域	414	27.5	31.6	4.8	33.6	1.4	1.0
	不明	8	37.5	12.5	-	37.5	-	12.5
林所有	持っている	269	32.7	33.5	6.7	24.5	1.5	1.1
	持っていない	1,011	17.6	30.3	4.5	45.5	1.1	1.0
	不明	9	11.1	33.3	11.1	44.4	-	-

【県民参加の森林づくりについて】

問3 水源かん養や災害防止など森林の持つ機能を維持するためには、森林所有者や行政だ  
 県民参加による広葉樹の植林や下草刈りなどの森林整備、森林ボランティアへの支援(材  
 貸与、苗木の提供、研修の実施)などが求められています。

あなたは、このような取り組みについてどう思いますか。次の中から1つあげてください。

	総 数	むも べつ きと 取 り 組 み	べえど きばち で取 りか る組 と むい	は取 り 組 む 必 要	そ の 他	無 回 答	
総 数	1,289	51.7	40.3	2.0	3.2	2.9	
性 別	男 性	619	54.0	36.8	2.9	3.2	3.1
	女 性	661	50.1	43.0	1.2	3.2	2.6
	不 明	9	11.1	77.8	-	-	11.1
年 齢 別	20～29歳	91	57.1	36.3	1.1	3.3	2.2
	30～39歳	178	47.8	46.1	2.2	3.4	0.6
	40～49歳	177	54.2	39.5	1.7	3.4	1.1
	50～59歳	357	50.4	42.6	1.7	3.1	2.2
	60～69歳	247	53.4	39.3	1.6	2.4	3.2
	70歳以上	238	50.8	35.3	3.4	3.8	6.7
	不 明	1	-	100.0	-	-	-
本 人 職 業	農林漁業	61	52.5	31.1	8.2	3.3	4.9
	自営業	120	58.3	32.5	3.3	4.2	1.7
	給与所得者	590	52.4	42.0	1.5	2.4	1.7
	主婦	228	48.7	44.3	0.9	3.5	2.6
	学 生	13	38.5	61.5	-	-	-
	無 職	266	49.6	38.0	2.3	4.1	6.0
	不 明	11	63.6	27.3	-	9.1	-
居 住 地	富山市(旧富山市)	369	55.6	37.7	1.6	2.2	3.0
	富山市(旧大沢野町)	20	55.0	45.0	-	-	-
	富山市(旧大山町)	11	36.4	63.6	-	-	-
	富山市(旧八尾町)	28	39.3	50.0	-	3.6	7.1
	富山市(旧婦中町)	30	43.3	50.0	3.3	3.3	-
	富山市(旧山田村)	2	-	50.0	-	50.0	-
	富山市(旧細入村)	3	33.3	33.3	33.3	-	-
	高岡市	180	49.4	42.2	1.7	2.8	3.9
	新溪市	37	43.2	48.6	-	-	8.1
	魚津市	61	45.9	45.9	1.6	1.6	4.9
	氷見市	51	49.0	35.3	2.0	9.8	3.9
	滑川市	32	40.6	50.0	-	6.3	3.1
	奥州市	32	43.8	46.9	-	9.4	-
	砺波市(旧砺波市)	49	46.9	44.9	2.0	6.1	-
	砺波市(旧庄川町)	20	60.0	40.0	-	-	-
	小矢部市	36	50.0	41.7	-	5.6	2.8
	南砺市(旧城端町)	15	60.0	33.3	6.7	-	-
	南砺市(旧平村)	7	42.9	57.1	-	-	-
	南砺市(旧上平村)	11	54.5	18.2	18.2	9.1	-
	南砺市(旧利賀村)	11	81.8	9.1	-	-	9.1
	南砺市(旧井波町)	8	37.5	62.5	-	-	-
	南砺市(旧井口村)	4	50.0	50.0	-	-	-
	南砺市(旧福野町)	15	53.3	33.3	-	6.7	6.7
	南砺市(旧福光町)	24	58.3	33.3	-	8.3	-
	舟橋村	3	33.3	66.7	-	-	-
	上市町	25	28.0	52.0	12.0	4.0	4.0
	立山町	37	62.2	32.4	2.7	2.7	-
	宇奈月町	4	75.0	-	25.0	-	-
	入善町	46	58.7	30.4	2.2	4.3	4.3
	朝日町	22	59.1	40.9	-	-	-
	小杉町	40	50.0	45.0	2.5	-	2.5
	大門町	17	64.7	29.4	-	-	5.9
	下村	4	25.0	75.0	-	-	-
	大島町	11	72.7	18.2	-	9.1	-
	福岡町	22	63.6	27.3	9.1	-	-
	不 明	2	50.0	50.0	-	-	-
環 境 住	市街地 郊外	867	52.6	39.9	1.7	2.9	2.9
	農山村地域	414	50.5	40.3	2.7	3.9	2.7
	不 明	8	12.5	75.0	-	-	12.5
林 所 有	持っている	269	55.0	36.1	2.2	3.3	3.3
	持っていない	1,011	51.0	41.3	1.9	3.1	2.7
	不 明	9	22.2	44.4	11.1	11.1	11.1

問4 あなたは、森林づくりに参加してみたいと思いますか。  
次の中から1つあげてください。

	総 数	た 積 極 的 に 参 加 し	加 で さ る 範 圍 で 参 加 し た い	い す で に 参 加 し て	参 加 し た く な い	そ の 他	無 回 答		
総 数	1,289	3.1	65.2	2.0	17.8	9.2	2.6		
性別	男 性	619	4.0	64.6	2.7	17.6	7.9	3.1	
	女 性	661	2.3	65.7	1.4	18.3	10.3	2.1	
	不 明	9	-	66.7	-	-	22.2	11.1	
年齢別	20～29歳	91	2.2	68.1	-	20.9	7.7	1.1	
	30～39歳	178	3.4	69.1	1.1	20.2	5.1	1.1	
	40～49歳	177	2.3	72.9	2.8	18.1	2.8	1.1	
	50～59歳	357	4.2	68.1	0.8	17.9	7.3	1.7	
	60～69歳	247	3.2	70.0	2.4	16.6	4.9	2.8	
	70歳以上	238	2.1	45.8	4.2	16.0	25.2	6.7	
	不 明	1	-	100.0	-	-	-	-	
本人職業	農林漁業	61	3.3	57.4	13.1	11.5	9.8	4.9	
	自営業	120	1.7	71.7	2.5	13.3	9.2	1.7	
	給与所得者	590	3.2	70.2	1.2	18.3	5.3	1.9	
	主婦	228	3.1	67.5	1.3	18.4	8.8	0.9	
	学 生	13	-	69.2	-	30.8	-	-	
	無 職	266	3.4	50.4	1.9	19.9	18.4	6.0	
	不 明	11	9.1	72.7	-	-	18.2	-	
居住地	富山市(旧富山市)	369	2.7	66.7	0.5	15.4	12.2	2.4	
	富山市(旧大沢野町)	20	-	75.0	-	20.0	5.0	-	
	富山市(旧大山町)	11	-	81.8	-	18.2	-	-	
	富山市(旧八尾町)	28	-	60.7	3.6	21.4	10.7	3.6	
	富山市(旧綿中町)	30	-	56.7	-	36.7	3.3	3.3	
	富山市(旧山田村)	2	-	50.0	-	-	50.0	-	
	富山市(旧細入村)	3	-	-	-	66.7	33.3	-	
	高岡市	180	4.4	57.2	1.1	24.4	9.4	3.3	
	新湊市	37	-	64.9	-	21.6	8.1	5.4	
	魚津市	61	8.2	70.5	1.6	11.5	3.3	4.9	
	氷見市	51	3.9	66.7	-	23.5	5.9	-	
	滑川市	32	-	53.1	-	25.0	15.6	6.3	
	黒部市	32	3.1	68.8	6.3	12.5	9.4	-	
	砺波市(旧砺波市)	49	-	79.6	2.0	6.1	10.2	2.0	
	砺波市(旧庄川町)	20	5.0	75.0	-	10.0	10.0	-	
	小矢部市	36	5.6	66.7	8.3	8.3	8.3	2.8	
	南砺市(旧城端町)	15	-	73.3	20.0	6.7	-	-	
	南砺市(旧平村)	7	14.3	57.1	14.3	14.3	-	-	
	南砺市(旧上平村)	11	-	63.6	18.2	9.1	9.1	-	
	南砺市(旧利賀村)	11	9.1	54.5	27.3	-	-	9.1	
	南砺市(旧井波町)	8	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	-	
	南砺市(旧井口村)	4	-	100.0	-	-	-	-	
	南砺市(旧福野町)	15	6.7	73.3	-	13.3	-	6.7	
	南砺市(旧福光町)	24	4.2	62.5	4.2	25.0	4.2	-	
	舟橋村	3	-	66.7	-	33.3	-	-	
	上市町	25	-	68.0	-	20.0	8.0	4.0	
	立山町	37	-	64.9	2.7	13.5	16.2	2.7	
	宇奈月町	4	-	25.0	-	50.0	25.0	-	
	入善町	46	4.3	65.2	-	21.7	4.3	4.3	
	朝日町	22	4.5	68.2	4.5	22.7	-	-	
	小杉町	40	2.5	70.0	2.5	15.0	7.5	2.5	
	大門町	17	-	70.6	-	17.6	5.9	5.9	
	下村	4	-	50.0	-	50.0	-	-	
	大島町	11	18.2	63.6	-	9.1	9.1	-	
	福岡町	22	-	63.6	-	18.2	18.2	-	
	不 明	2	-	100.0	-	-	-	-	
	環境居住	市街地 郊外	867	3.6	65.9	0.8	17.6	9.7	2.4
		農山村地域	414	2.2	64.3	4.6	17.9	8.0	3.1
		不 明	8	-	37.5	-	37.5	25.0	-
	林 所有	持っている	269	3.7	59.5	7.1	15.2	10.8	3.7
持っていない		1,011	3.0	66.8	0.7	18.4	8.9	2.3	
不 明		9	-	55.6	-	33.3	-	11.1	

【森林づくりのための財源の充実について】

問5 富山県の森林を守り育てるために新しい税をつくることについてどう思いますか。  
次の中から1つあげてください。

	総 数	賛 成 で あ る	あ よ う 担 て は 賛 成 に で	て 使 い み ち に よ っ て は 賛 成 で あ る	反 対 で あ る	そ の 他	無 回 答
総数	1,289	10.3	28.9	45.3	10.7	2.5	2.3
性別							
男性	619	11.5	28.1	42.2	12.8	2.6	2.9
女性	661	9.4	29.8	48.0	8.8	2.3	1.8
不明	9	-	11.1	66.7	11.1	11.1	-
年齢別							
20～29歳	91	9.9	30.8	41.8	13.2	2.2	2.2
30～39歳	178	5.6	31.5	42.1	16.3	3.9	0.6
40～49歳	177	9.0	30.5	44.6	11.3	3.4	1.1
50～59歳	357	11.5	28.6	44.8	10.4	3.4	1.4
60～69歳	247	12.6	27.1	44.9	12.6	0.8	2.0
70歳以上	238	10.9	27.3	50.4	3.8	1.3	6.3
不明	1	-	-	100.0	-	-	-
本人職業							
農林漁業	61	18.0	19.7	47.5	11.5	-	3.3
自営業	120	15.8	29.2	43.3	6.7	3.3	1.7
総所得者	590	7.2	29.2	43.2	13.1	3.1	1.4
主婦	228	7.9	29.8	49.6	9.2	2.2	1.3
学生	13	-	46.2	46.2	7.7	-	-
無職	266	9.0	28.2	47.0	8.6	1.9	5.3
不明	11	9.1	36.4	36.4	9.1	-	9.1
居住地							
富山市(旧富山市)	369	10.0	31.2	42.8	10.6	2.4	3.0
富山市(旧大沢野町)	20	15.0	35.0	35.0	15.0	-	-
富山市(旧大山町)	11	9.1	36.4	36.4	18.2	-	-
富山市(旧八尾町)	28	-	25.0	57.1	14.3	-	3.6
富山市(旧婦中町)	30	10.0	26.7	36.7	20.0	6.7	-
富山市(旧山田村)	2	-	-	100.0	-	-	-
富山市(旧細入村)	3	-	-	66.7	33.3	-	-
高岡市	180	8.9	25.6	48.9	11.7	1.1	3.9
新湊市	37	2.7	51.4	35.1	5.4	-	5.4
魚津市	61	8.2	27.9	45.9	9.8	4.9	3.3
氷見市	51	5.9	31.4	45.1	13.7	3.9	-
滑川市	32	9.4	31.3	46.9	12.5	-	-
奥州市	32	12.5	18.8	56.3	9.4	3.1	-
砺波市(旧砺波市)	49	4.1	24.5	53.1	14.3	4.1	-
砺波市(旧庄川町)	20	10.0	40.0	40.0	10.0	-	-
小矢部市	36	11.1	36.1	36.1	8.3	5.6	2.8
南砺市(旧城端町)	15	6.7	33.3	46.7	-	13.3	-
南砺市(旧平村)	7	28.6	28.6	28.6	14.3	-	-
南砺市(旧上平村)	11	27.3	9.1	54.5	9.1	-	-
南砺市(旧利賀村)	11	54.5	9.1	27.3	-	-	9.1
南砺市(旧井波町)	8	12.5	50.0	37.5	-	-	-
南砺市(旧井口村)	4	25.0	25.0	50.0	-	-	-
南砺市(旧福野町)	15	13.3	46.7	33.3	-	-	6.7
南砺市(旧福光町)	24	16.7	20.8	41.7	8.3	12.5	-
舟橋村	3	-	33.3	66.7	-	-	-
上市町	25	20.0	4.0	52.0	24.0	-	-
立山町	37	10.8	43.2	43.2	-	2.7	-
宇奈月町	4	25.0	-	75.0	-	-	-
入善町	46	8.7	21.7	37.0	26.1	4.3	2.2
朝日町	22	13.6	27.3	50.0	9.1	-	-
小杉町	40	5.0	25.0	60.0	5.0	-	5.0
大門町	17	11.8	41.2	41.2	-	-	5.9
下村	4	25.0	25.0	50.0	-	-	-
大島町	11	9.1	9.1	63.6	9.1	9.1	-
福岡町	22	27.3	22.7	45.5	4.5	-	-
不明	2	-	-	100.0	-	-	-
環境居住							
市街地 郊外	867	9.0	30.4	44.9	11.2	2.2	2.3
農村地域	414	13.3	25.4	46.1	9.9	3.1	2.2
不明	8	-	37.5	50.0	-	-	12.5
林所有							
持っている	269	15.6	25.3	46.8	7.1	2.2	3.0
持っていない	1,011	8.8	29.9	45.0	11.7	2.6	2.1
不明	9	22.2	22.2	33.3	11.1	-	11.1

問6 県民が幅広く森林づくりに参加していくための税として、仮に、あなたが費用を分担するとしたら、年間どのくらいなら協力してもよいと思いますか。次の中から1つあげてください。

		総数	年間500円程度	年間1000円程度	年間1500円程度	年間2000円程度	その他	無回答
総数		1,289	31.4	41.0	4.4	10.3	8.3	4.6
性別	男性	619	24.9	42.0	4.8	11.1	11.5	5.7
	女性	661	37.2	40.2	4.1	9.5	5.3	3.6
	不明	9	55.6	22.2	-	11.1	11.1	-
年齢別	20～29歳	91	41.8	30.8	4.4	9.9	11.0	2.2
	30～39歳	178	44.4	28.1	3.9	7.9	14.6	1.1
	40～49歳	177	32.8	37.3	4.0	13.0	9.0	4.0
	50～59歳	357	27.2	42.6	5.6	13.2	7.6	3.9
	60～69歳	247	30.4	44.1	4.0	8.9	7.7	4.9
	70歳以上	238	24.4	51.7	3.8	7.1	3.8	9.2
	不明	1	-	-	-	100.0	-	-
本人職業	農林漁業	61	11.5	52.5	8.2	11.5	8.2	8.2
	自営業	120	22.5	50.8	-	12.5	12.5	1.7
	給与所得者	590	31.2	37.3	5.6	12.0	10.2	3.7
	主婦	228	39.0	38.6	3.1	10.5	4.8	3.9
	学生	13	53.8	30.8	-	7.7	7.7	-
	無職	266	33.5	44.0	4.5	5.3	5.3	7.5
	不明	11	18.2	54.5	-	9.1	9.1	9.1
居住地	富山市(旧富山市)	369	30.9	39.8	5.7	10.8	7.9	4.9
	富山市(旧大沢野町)	20	25.0	70.0	-	-	5.0	-
	富山市(旧大山町)	11	36.4	45.5	9.1	-	9.1	-
	富山市(旧八尾町)	28	28.6	28.6	3.6	17.9	10.7	10.7
	富山市(旧婦中町)	30	26.7	40.0	6.7	13.3	6.7	6.7
	富山市(旧山田村)	2	50.0	50.0	-	-	-	-
	富山市(旧細入村)	3	-	66.7	-	-	33.3	-
	高岡市	180	38.9	38.3	3.3	7.8	7.2	4.4
	新湊市	37	40.5	37.8	5.4	8.1	2.7	5.4
	魚津市	61	32.8	44.3	1.6	4.9	9.8	6.6
	氷見市	51	27.5	45.1	2.0	9.8	11.8	3.9
	滑川市	32	25.0	46.9	3.1	15.6	6.3	3.1
	黒部市	32	43.8	31.3	3.1	9.4	9.4	3.1
	砺波市(旧砺波市)	49	20.4	46.9	4.1	14.3	14.3	-
	砺波市(旧庄川町)	20	35.0	55.0	5.0	-	-	5.0
	小矢部市	36	33.3	44.4	-	11.1	2.8	8.3
	南砺市(旧城端町)	15	20.0	66.7	-	13.3	-	-
	南砺市(旧平村)	7	14.3	71.4	-	14.3	-	-
	南砺市(旧上平村)	11	9.1	45.5	9.1	18.2	9.1	9.1
	南砺市(旧利賀村)	11	27.3	54.5	-	9.1	-	9.1
	南砺市(旧井波町)	8	37.5	62.5	-	-	-	-
	南砺市(旧井口村)	4	-	50.0	-	25.0	25.0	-
	南砺市(旧福野町)	15	33.3	40.0	6.7	13.3	-	6.7
	南砺市(旧福光町)	24	33.3	33.3	8.3	8.3	12.5	4.2
	舟橋村	3	66.7	-	-	33.3	-	-
	上市町	25	16.0	40.0	4.0	16.0	12.0	12.0
	立山町	37	54.1	29.7	10.8	5.4	-	-
	宇奈月町	4	-	-	-	50.0	25.0	25.0
	入善町	46	26.1	28.3	4.3	6.5	28.3	6.5
	朝日町	22	27.3	36.4	9.1	9.1	13.6	4.5
	小杉町	40	42.5	37.5	-	15.0	2.5	2.5
	大門町	17	23.5	52.9	5.9	11.8	-	5.9
	下村	4	-	50.0	-	50.0	-	-
	大島町	11	-	36.4	27.3	-	18.2	-
福岡町	22	22.7	54.5	-	9.1	13.6	-	
不明	2	50.0	-	-	50.0	-	-	
環境居住	市街地 郊外	867	33.1	40.8	4.4	9.5	8.4	3.8
	農山村地域	414	27.8	41.3	4.6	12.1	8.2	6.0
	不明	8	37.5	37.5	-	12.5	-	12.5
林所有	持っている	269	26.4	45.0	3.7	11.5	7.1	6.3
	持っていない	1,011	32.7	40.1	4.6	10.0	8.6	4.0
	不明	9	33.3	22.2	-	11.1	11.1	22.2

## 第2章

「森づくりに関する森林所有者アンケート」の結果

## 調査の概要

### 1 調査の目的

「とやまの森林」を荒廃から守り、本県の森林を未来に引き継ぐための仕組みづくりを検討するにあたっては、森林に対する認識や保全・管理のあり方、森林づくりへの参加意向など一般県民の意識だけではなく、森林所有者の意向等を把握することが極めて重要であることから、県内に森林を所有している者を対象にアンケートを実施した。

### 2 調査の項目

- (1) 所有している森林にいったことがあるか
- (2) 森林の手入れ状況について
- (3) 所有している森林の現状について
- (4) 所有している森林の今後の対応について
- (5) 自己負担の有無による森林の手入れについて
- (6) 森林の手入れに必要な支援について
- (7) 森林ボランティアの活用意向について
- (8) 里山林オーナー制度の活用について
- (9) 自由記述意見

### 3 調査の設計

- (1) 調査地域 富山県全域
- (2) 調査対象 県内に森林を所有する者
- (3) 標本数 1,000
- (4) 抽出方法 森林組合員名簿より単純無作為抽出
- (5) 調査期間 平成 17 年 8 月 1 日～8 月 10 日
- (6) 調査方法 郵送返送方式

### 4 調査機関 (株)スカイインテック

### 5 回収の結果

- (1) 標本数 1,000(100.0%)
- (2) 回収数 526( 52.6%)

### 6 回収された標本の特性

(1) 性別

	区 分	件 数	割合 (%)
1	男 性	472	89.7
2	女 性	38	7.2
	不 明	16	3.0
	合 計	526	100.0

(2) 年齢

	区 分	件 数	割合 (%)
1	20～29歳	1	0.2
2	30～39歳	3	0.6
3	40～49歳	24	4.6
4	50～59歳	119	22.6
5	60～69歳	145	27.6
6	70歳以上	221	42.0
	不 明	13	2.5
	合 計	526	100.0

(3) 居住地

	区 分	件 数	割合 (%)
1	県 内	497	94.5
2	県 外	13	2.5
	不 明	16	3.0
	合 計	526	100.0

(4) 所有林の種類

	区 分	件 数	割合 (%)
1	人工林	241	45.8
2	天然林	88	16.7
3	人工林、天然林ほぼ同面積	167	31.7
	不 明	30	5.7
	合 計	526	100.0

(5) 所有林の面積

	区 分	件 数	割合 (%)
1	1ha未満	118	22.4
2	1～5ha未満	203	38.6
3	5～10ha未満	82	15.6
4	10ha以上	72	13.7
	不 明	51	9.7
	合 計	526	100.0



(6) 所有森林までの所要時間

	区 分	件 数	割合(%)
1	30分以内	202	38.4
2	30分～1時間以内	221	42.0
3	1～2時間以内	65	12.4
4	2時間以上	13	2.5
	不 明	25	4.8
	合 計	526	100.0

(7) 所有森林と道路との位置関係

	区 分	件 数	割合(%)
1	道路に隣接している	191	36.3
2	道路と離れている	306	58.2
	不 明	29	5.5
	合 計	526	100.0

(8) 所有人工林の林齢

	区 分	件 数	割合(%)
1	35年生以下	132	25.1
2	35年生以上	245	46.6
3	わからない	55	10.5
	不 明	94	17.9
	合 計	526	100.0

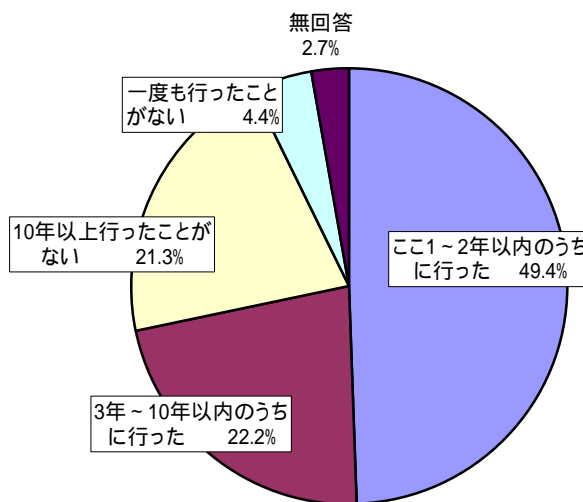
(9) 後継者の有無

	区 分	件 数	割合(%)
1	いる	127	24.1
2	いない	223	42.4
3	わからない	150	28.5
	不 明	26	4.9
	合 計	526	100.0

## 調査結果の概要

問1 あなたの所有されている森林に行ったのはいつですか。  
次の中から1つあげてください。

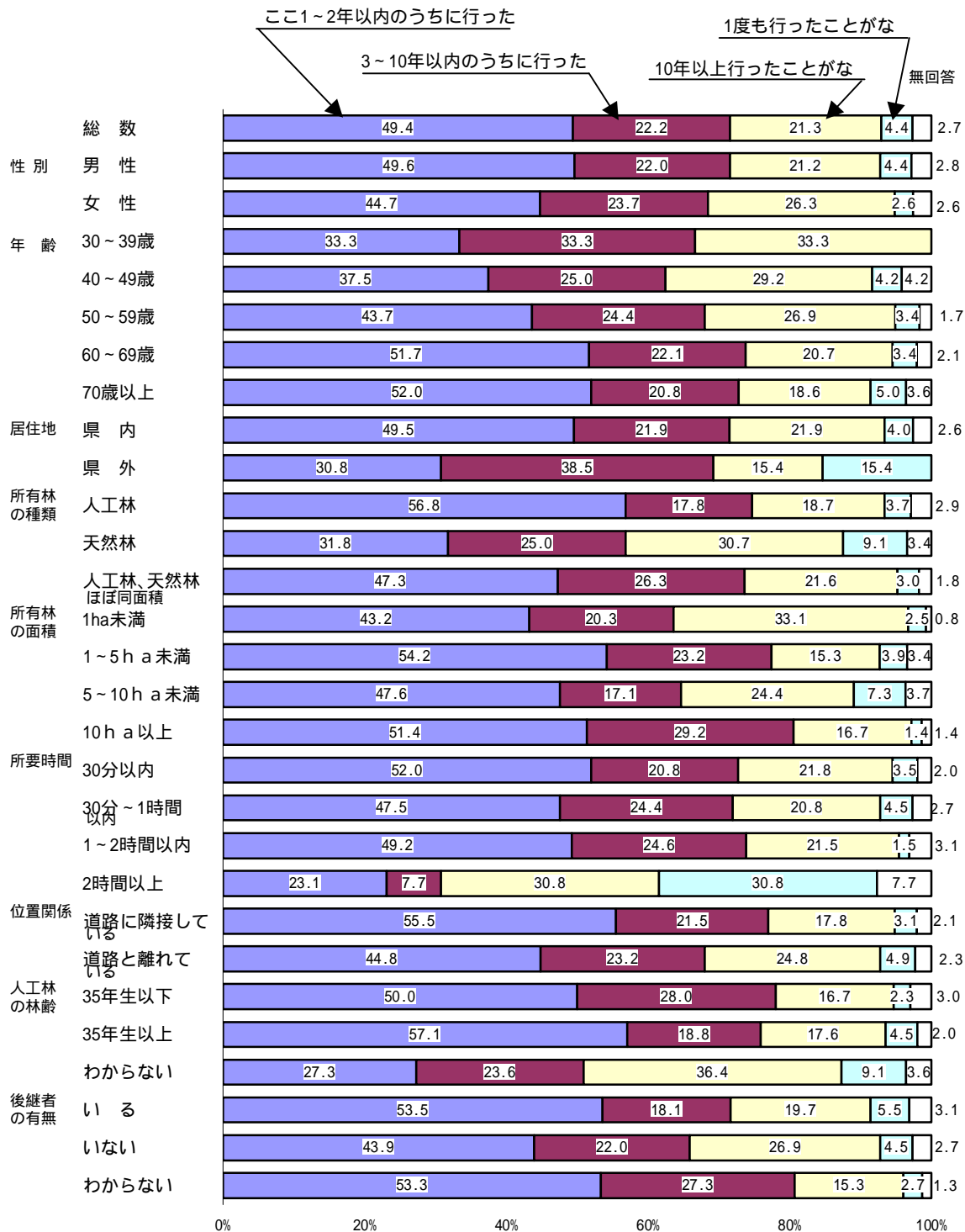
図表1 所有している森林に行ったことがあるか



	回答数	割合 (%)
1．ここ1～2年以内に行った	260	49.4
2．3年～10年以内のうちに行った	117	22.2
3．10年以上行ったことがない	112	21.3
4．一度も行ったことがない	23	4.4
無回答	14	2.7
計	526	100.0

「ここ1～2年以内のうちに行ったことがある」と回答した所有者が49.4%と最も多く、次いで、「3年～10年以内のうちに行った」の22.2%となっているが、25.7%は「10年以上行ったことがない」「一度も行ったことがない」と回答している。

## 属性別の傾向



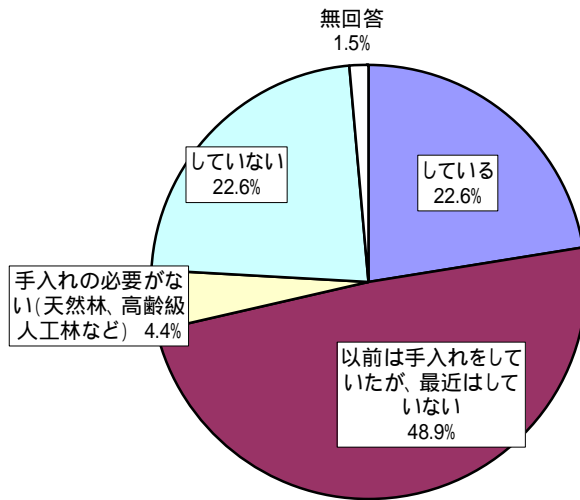
70歳以上で「ここ1~2年以内のうちにいった」とした割合が52.0%となっている。一方20~29歳では33.3%となるなど、年齢層が高いほど、最近森林に行った割合が高い傾向が見られる。

「所要時間が短い」「道路に隣接している」では、「ここ1～2年以内のうちにいった」とした割合が高くなっている。一方、「所要時間が長い」「道路と離れている」では、近年森林にいったことがない割合が高くなっている。

後継者の有無で見ると、「いる」とした人で「ここ1～2年以内のうちにいった」とした割合が高くなっている。一方、「いない」とした人では、近年森林にいったことがない割合が高くなっている。

問2 あなたの所有されている森林の手入れをしていますか（森林組合などへの施業委託も含む）。次の中から1つあげてください。

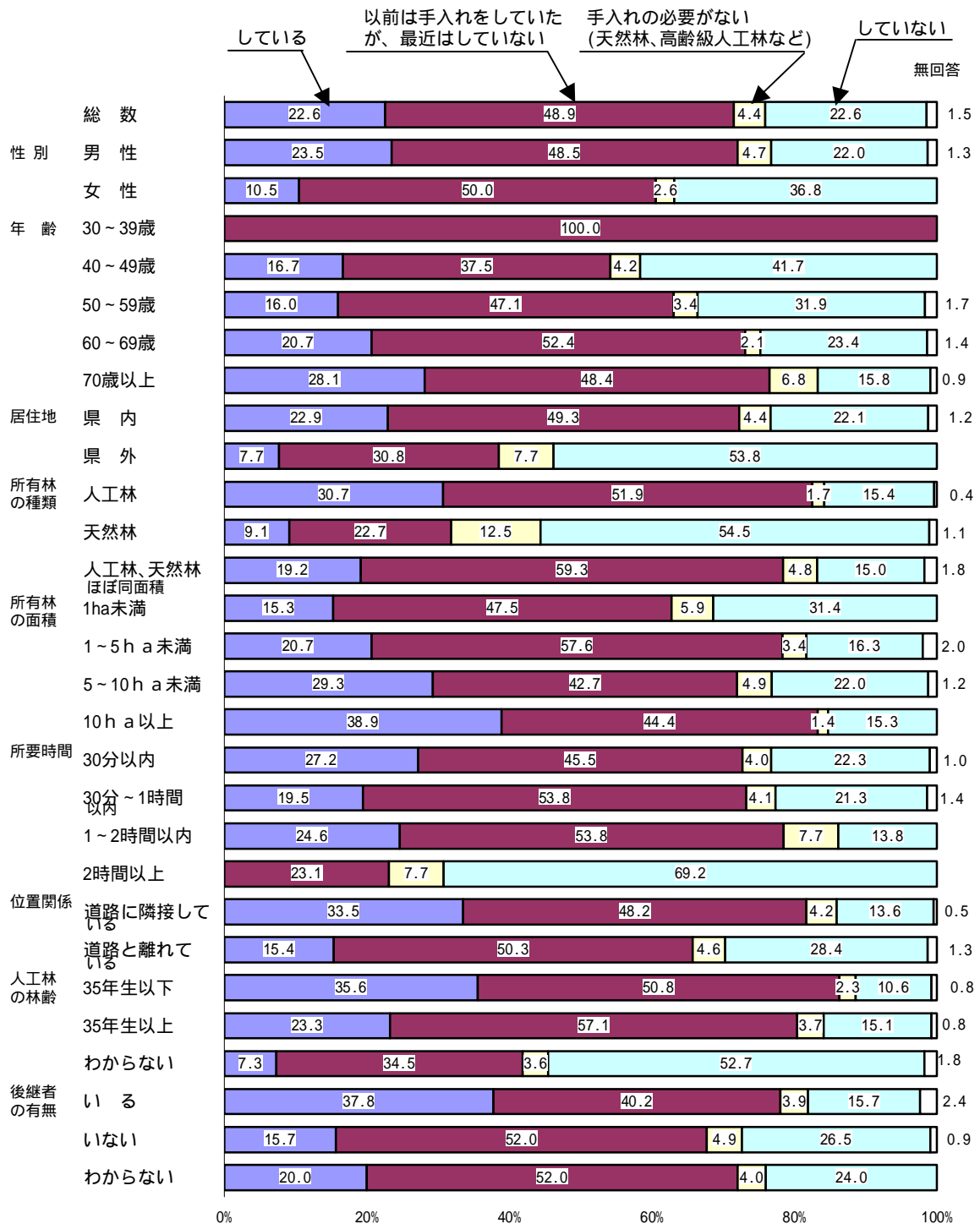
図表2 森林の手入れ状況について



	回答数	割合 (%)
1. している	119	22.6
2. 以前は手入れをしていたが、最近はしていない	257	48.9
3. 手入れの必要がない(天然林、高齢級人工林など)	23	4.4
4. していない	119	22.6
無回答	8	1.5
計	526	100.0

「以前は手入れを行っていたが最近は手入れを行っていない」との回答が 48.9%と最も多く、「している」「していない」が同数の 22.6%となっている。

## 属性別の傾向



性別では、男性が女性より「している」とした割合が高く、「していない」が低くなっている。

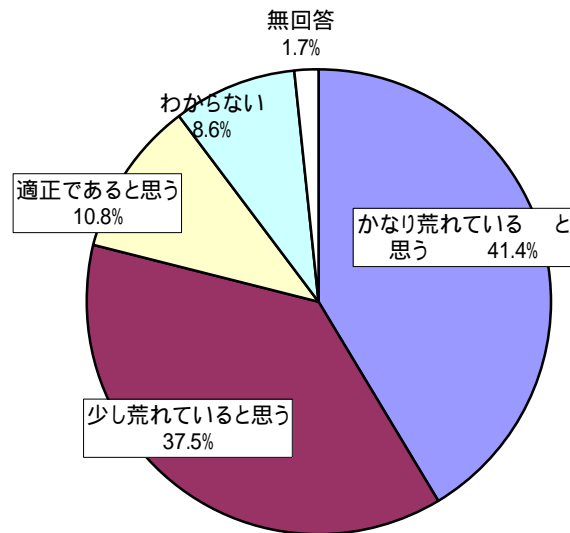
所有面積では、「している」とした割合が「10ha以上」所有する人で38.9%、「1ha未満」所有する人で15.3%、「していない」とした割合が「10ha以上」で15.3%、「1ha未満」で31.4%となるなど所有面積が多いほど手入れをしている割合が高い傾向が見られる。

「所要時間が短い」「道路に隣接している」では、「している」とした割合が高くなっている。一方、「所要時間が長い」「道路と離れている」では、「していない」とする割合が高くなっている。

後継者の有無で見ると、「いる」とした人で「している」とした割合が高くなっている。一方、「いない」とした人では、「していない」とする割合が高くなっている。

問3 あなたの所有されている森林の現状をどう思いますか。  
次の中から1つあげてください。

図表3 所有している森林の現状について

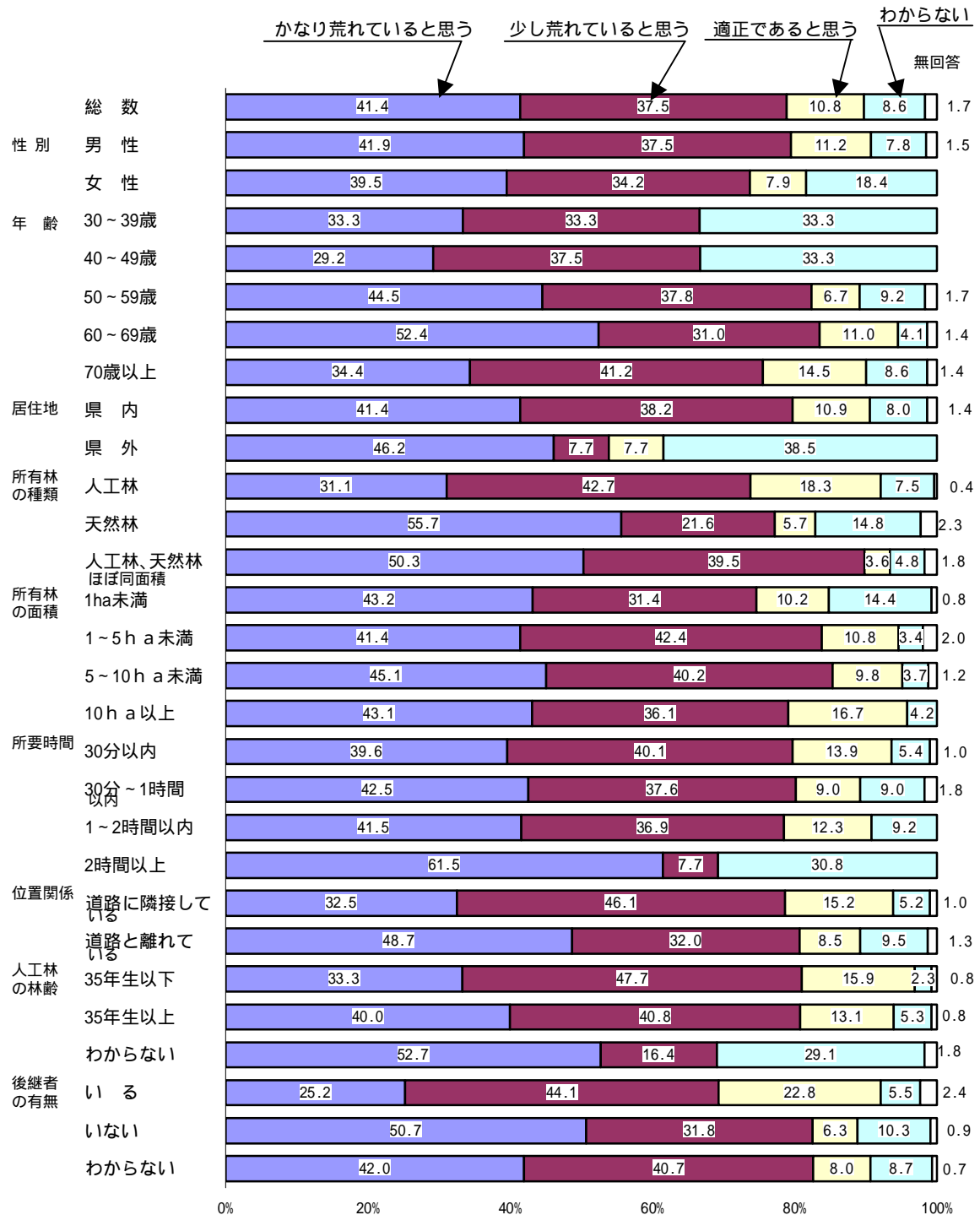


	回答数	割合 (%)
1 . かなり荒れていると思う	218	41.4
2 . 少し荒れていると思う	197	37.5
3 . 適正であると思う	57	10.8
4 . わからない	45	8.6
無回答	9	1.7
計	526	100.0

「かなり荒れていると思う」「少し荒れていると思う」との回答者は合わせて78.9%おり、所有者自身も森林の荒廃を認識している。



## 属性別の傾向



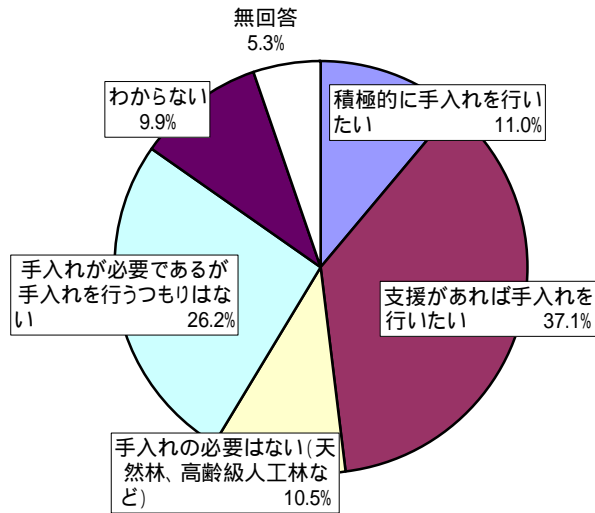
性別では、女性で「わからない」とした割合が18.4%と、男性に比べ10ポイント以上高くなっている。

「所要時間が長い」「道路と離れている」ほど、「かなり荒れていると思う」とした割合が高くなっている。一方、「わからない」とする割合も高くなっている。

後継者の有無で見ると、「いる」とした人で「適正であると思う」とした割合が 22.8%、「いない」とした人では 6.3%となっている。一方、「かなり荒れていると思う」とした割合が「いる」とした人で 25.2%、「いない」とした人では 50.7%となっている。

問4 あなたの所有されている森林について、今後、どのようにしていきたいと思いませんか。  
次の中から1つあげてください。

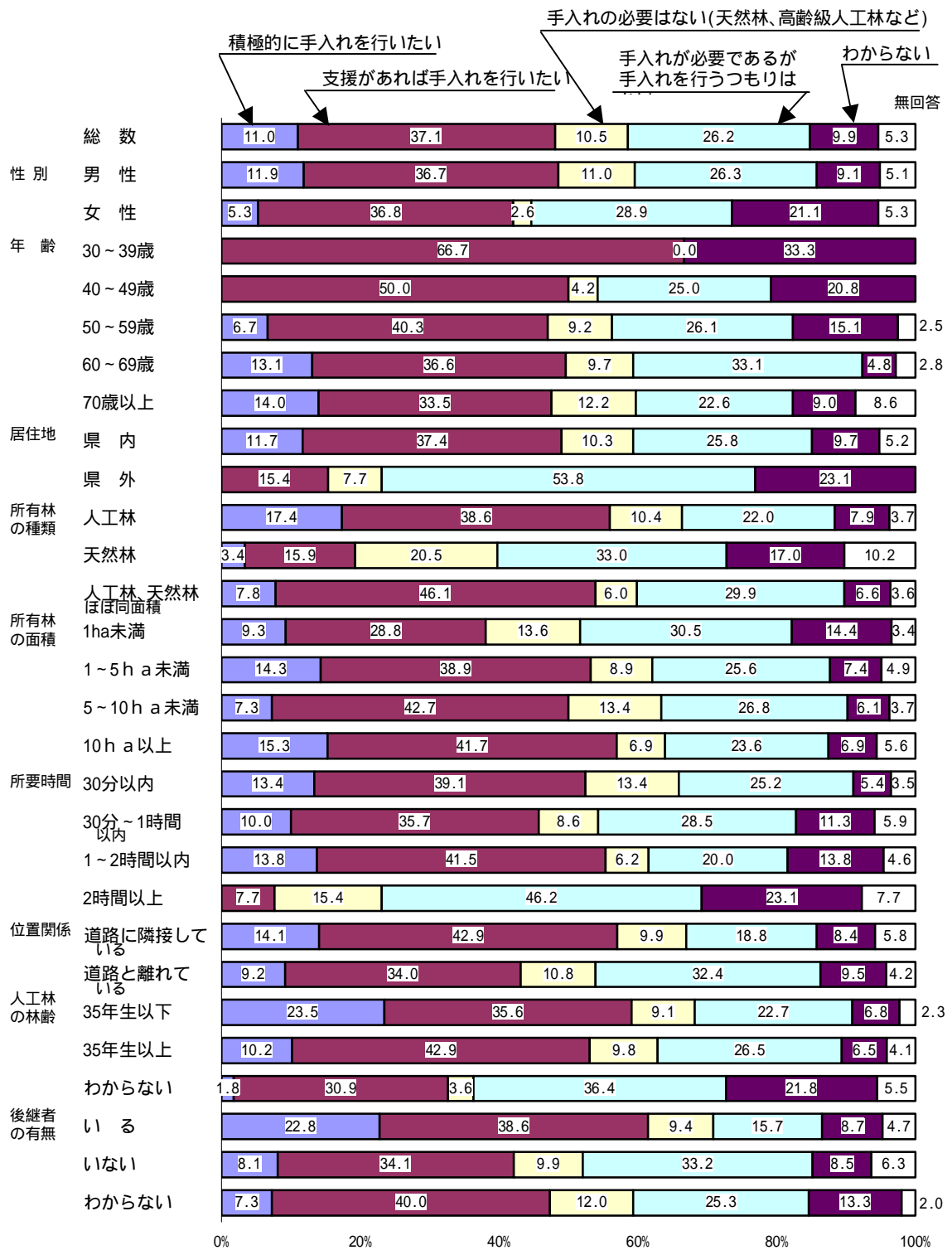
図表4 所有している森林の手入れについて



	回答数	割合 (%)
1. 積極的に手入れをおこないたい	58	11.0
2. 支援があれば手入れを行いたい	195	37.1
3. 手入れの必要はない(天然林、高齢級人工林など)	55	10.5
4. 手入れが必要であるが手入れを行うつもりはない	138	26.2
5. わからない	52	9.9
無回答	28	5.3
計	526	100.0

「積極的に手入れを行いたい」「支援があれば手入れを行いたい」とする回答者が48.1%いる反面、手入れの必要性を認識していても手入れを行うつもりはないとする回答者も26.2%いる。

## 属性別の傾向



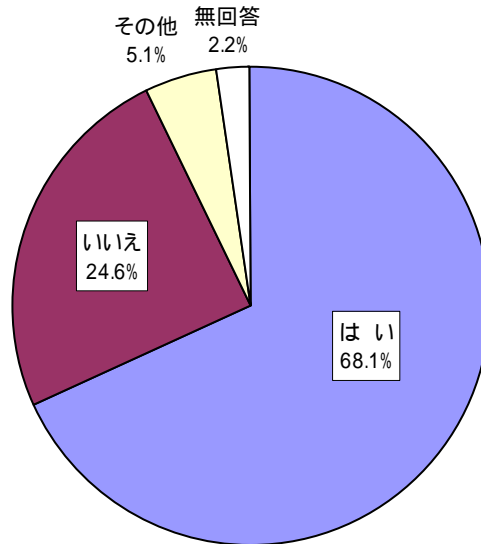
「道路と離れている」で「手入れが必要であるが手入れを行うつもりはない」とした割合が32.4%で、「道路に隣接している」の18.8%と10ポイント以上の差が見られる。

後継者の有無で見ると、「いる」とした人で「積極的に手入れを行いたい」「支援があれば手

入れを行いたい」とした割合が61.4%、「いない」とした人では42.2%となっている。一方「手入れが必要であるが手入れを行うつもりはない」を見ると、「いる」とした人で15.7%、「いない」とした人では33.2%となっている。

問5 問4で「4.手入れが必要であるが手入れを行うつもりはない」をあげた方にお聞きします。  
自己負担がなければ、森林の手入れを行いますか。次の中から1つあげてください。

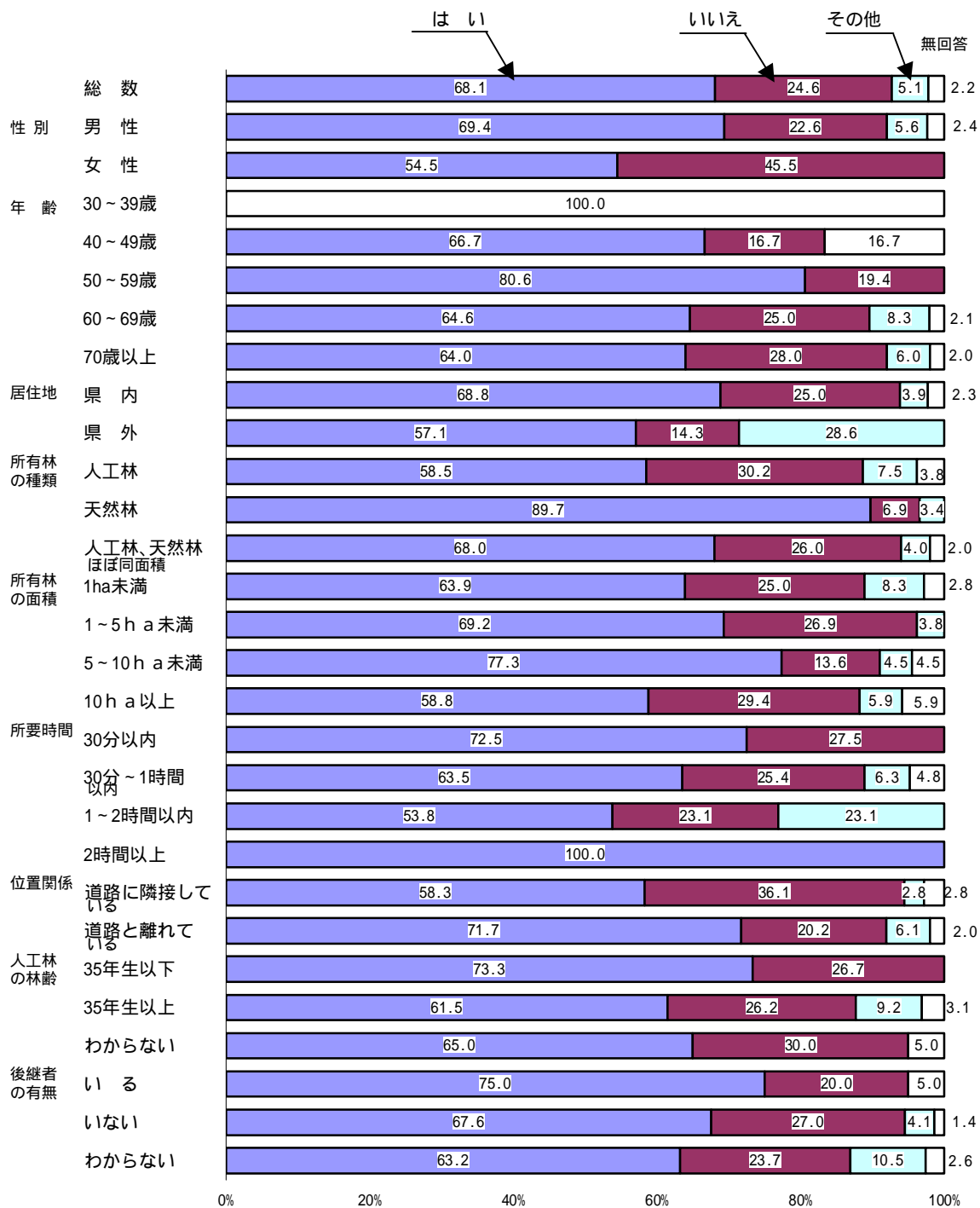
図表5 自己負担がなければ、森林の手入れを行うか



	回答数	割合 (%)
1. はい	94	68.1
2. いいえ	34	24.6
3. その他	7	5.1
無回答	3	2.2
計	526	100.0

問4で「手入れを行うつもりはない」とした回答者の68.1%（回答者全体の17.9%）が「自己負担がなければ手入れを行う」としている一方、24.6%（回答者全体の6.5%）は、たとえ自己負担がなくても手入れを行うつもりはないと回答している。

属性別の傾向



#### 「いいえ」の理由

「いいえ」を選んだ理由として、24件（全体の4.6%）の自由記述回答が出された。

その理由としては、「高齢のため」が最も多く、次いで「後継者がいない」となっている。

このほか、「一時的な手入れはできても、将来もできる保障がない」、「林業では生活できない」、「一つ一つ面積が小さく、分散している」、「自然のままの方がいいと考えている」などの理由が出されている。

#### 「その他」の意見

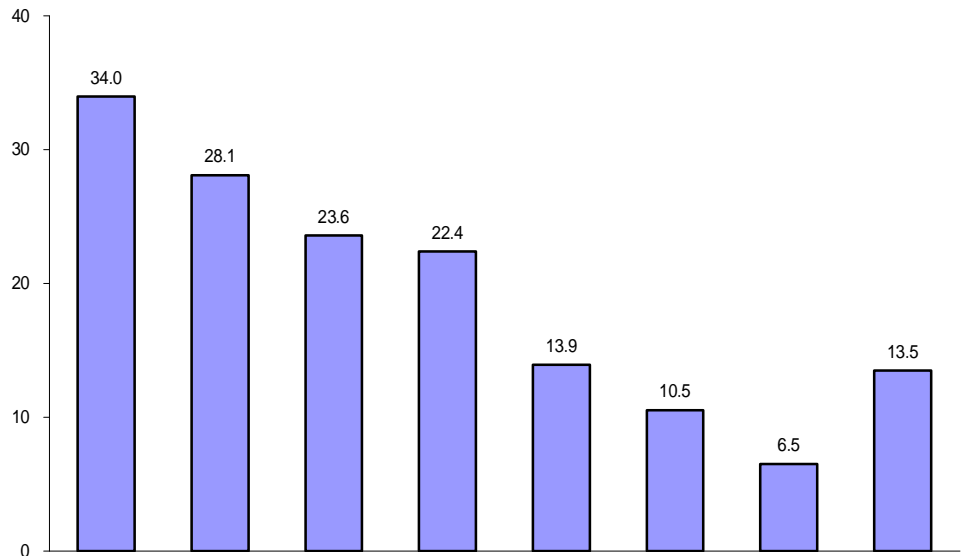
「その他」では、15件の意見や要望が出された。

「高齢で山に行けない」、「人手や後継者がいない」、「現在の材木の価格では手入れするだけマイナスである」など森づくりに悲観的な意見が多く出されたが、一方では、「積極的支援策を考えてほしい。個人之力では放置するしかない」、「作業道、歩道の開設助成支援と、資金調達制度、林業改善資金制度などがあれば知りたくアドバイスをいただきたい」など支援策を求める意見も出されている。



問6 森林の手入れを行うため、どのような支援があればよいと思われますか。  
次の中から2つまであげてください。

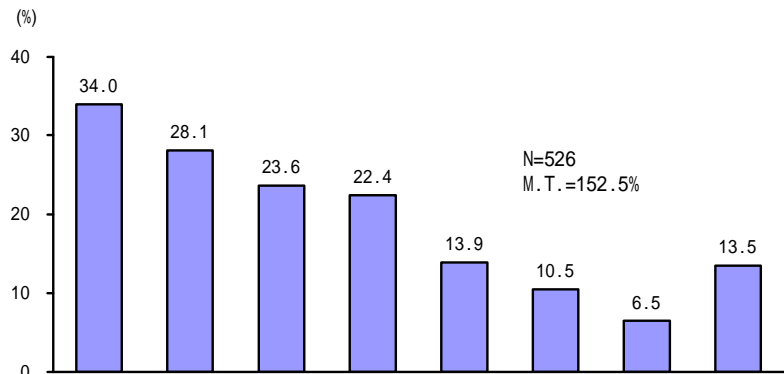
図表6 森林の手入れに必要な支援について



総数	実数	総数	林道、作業道、歩道などの整備	森林境界の確定	ボランティアなどの労働力	森林の手入れや再造林などへの資金	機材の貸与や資材(苗木など)の提供	技術の指導	その他	無回答
		実数	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
	526	526	179	148	124	118	73	55	34	71
	100.0	100.0	34.0	28.1	23.6	22.4	13.9	10.5	6.5	13.5

森林の手入れを行うためには、道路整備や森林境界の確定などの条件整備、労働力や森林整備のための資金の援助が必要と考える回答者が多い。

属性別の傾向



		総 数	歩 道 な ど の 整 備	森 林 境 界 の 確 定	ポ ラ ン テ ア な	資 再 森	の 材 機	材 の 貸 与 や 資	技 術 の 指 導	そ の 他	無 回 答
性別	男性	472	35.0	29.7	22.0	23.1	14.4	10.8	6.6	12.3	
	女性	38	23.7	15.8	44.7	15.8	5.3	2.6	7.9	23.7	
年齢	30～39歳	3	66.7	33.3	-	66.7	-	-	-	-	
	40～49歳	24	25.0	29.2	33.3	37.5	20.8	16.7	4.2	4.2	
	50～59歳	119	31.1	40.3	21.0	27.7	17.6	12.6	7.6	5.9	
	60～69歳	145	37.2	30.3	22.1	23.4	17.2	11.7	6.2	10.3	
	70歳以上	221	34.4	20.8	25.3	17.2	9.0	7.7	6.8	19.9	
居住地	県内	497	34.2	28.6	23.9	22.5	14.3	10.5	6.4	12.9	
	県外	13	38.5	23.1	15.4	30.8	-	7.7	7.7	23.1	
の 所 種 類 林	人工林	241	33.2	29.9	20.7	24.5	15.8	10.0	5.4	12.4	
	天然林	88	29.5	26.1	34.1	17.0	13.6	12.5	4.5	15.9	
	人工林、天然林ほぼ同面積	167	38.9	28.7	22.8	24.6	12.6	10.8	7.8	10.2	
所 有 林 の 面 積	1ha未満	118	32.2	37.3	23.7	14.4	16.9	11.0	2.5	13.6	
	1～5ha未満	203	36.0	29.1	22.2	26.1	15.3	8.9	8.9	10.3	
	5～10ha未満	82	35.4	19.5	24.4	29.3	7.3	18.3	3.7	11.0	
	10ha以上	72	40.3	22.2	26.4	23.6	11.1	8.3	8.3	13.9	
所 要 時 間	30分以内	202	28.7	32.2	25.7	21.8	17.3	11.9	3.5	10.9	
	30分～1時間以内	221	38.9	25.8	22.6	24.0	14.0	10.9	6.8	14.0	
	1～2時間以内	65	40.0	27.7	23.1	24.6	7.7	1.5	13.8	10.8	
	2時間以上	13	15.4	30.8	15.4	15.4	-	23.1	15.4	15.4	
関 係 位 置	道路に隣接している	191	20.4	29.3	26.2	24.1	17.3	13.6	5.8	15.2	
	道路と離れている	306	43.5	29.1	22.5	22.2	12.4	8.5	6.9	9.8	
の 人 工 林 の 年 齢	35年生以下	132	35.6	26.5	20.5	21.2	18.9	12.1	8.3	8.3	
	35年生以上	245	34.7	27.8	23.3	27.8	12.7	10.6	6.1	12.7	
	わからない	55	30.9	38.2	27.3	18.2	10.9	12.7	5.5	10.9	
の 後 継 者 無 者	いる	127	35.4	26.8	22.0	23.6	12.6	10.2	3.9	17.3	
	いない	223	33.2	32.3	25.1	21.1	15.2	11.7	6.3	10.3	
	わからない	150	35.3	24.7	22.7	24.7	14.0	9.3	9.3	12.0	

性別では、女性で「ボランティアなどの労働力」とした割合が44.7%と、男性に比べ20ポイント以上高くなっている。

所有面積別では、「1ha未満」の所有とした人で、「森林境界の確定」が37.3%と第1位となっている。「10ha以上」の所有とした人で、「林道、作業道、歩道などの整備」が40.3%と第1位となっている。

道路との位置関係では、「道路と離れている」とした人で「林道、作業道、歩道などの整備」とした割合が43.5%と第1位となっている一方、「道路に隣接している」とした人では20.4%と、その差は20ポイント以上となっている。

#### 「その他」の意見

「その他」では、24件（全体の4.6%）の意見や要望が出された。

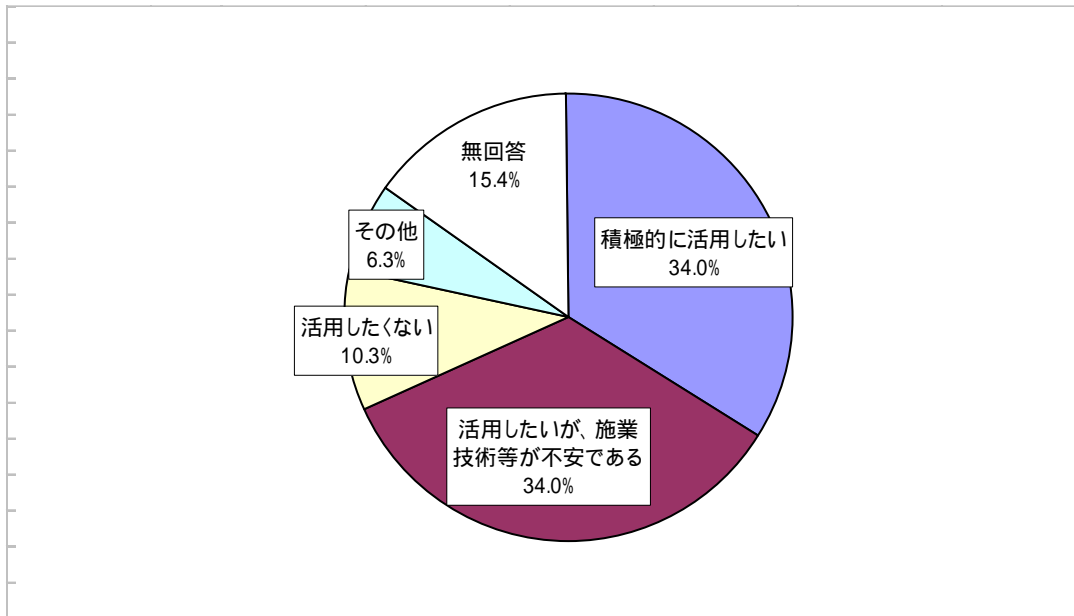
主な意見としては、「森づくり経費の支援」「技術者や労働力の支援」などが出された。

以下に主なものを挙げる。

- ・個人が行う森林整備（管理道整備含む）に対する直接支払い制度の確立
- ・森林整備の経験豊富な労働力
- ・国による人工林の買取
- ・木材の切り出し（販売）経費の補助
- ・森林組合などの支援
- ・林業専門者の育成
- ・自費なしでの施工

問7 県民参加の森林づくりを進めていく動きもありますが、あなたは、市町村や地域と協定を結んだうえで、森林ボランティアが無償で森林づくりを行うことについてどう思いますか。次の中から1つあげてください。

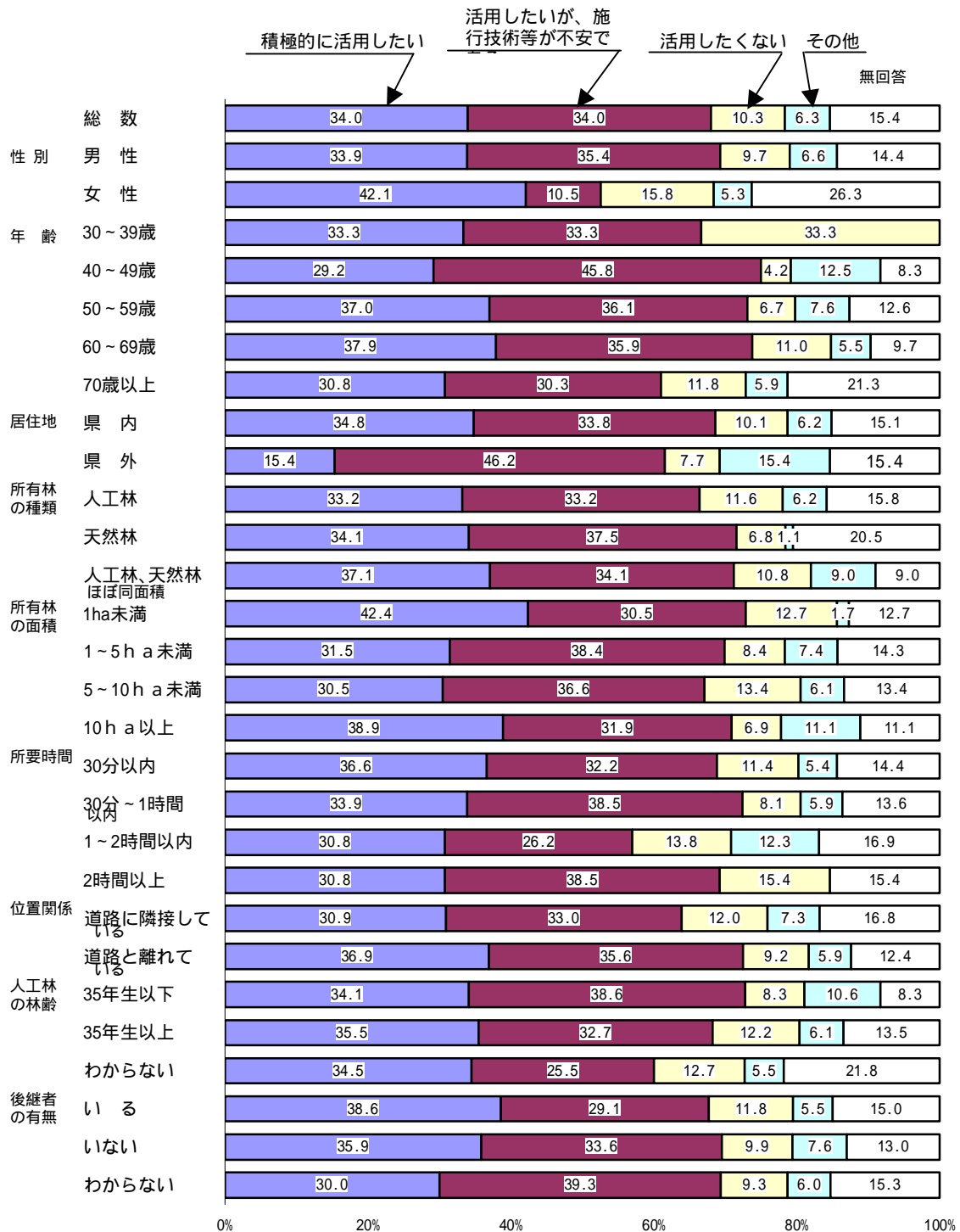
図表7 森林ボランティアの活用意向について



	回答数	割合 (%)
1 . 積極的に活用したい	179	34.0
2 . 活用したいが、施業技術等が不安である	179	34.0
3 . 活用したくない	54	10.3
4 . その他	33	6.3
無回答	81	15.4
計	526	100.0

ボランティアの活用には 68%が前向きな回答をしているが、そのうちの半数はボランティアの施業技術に不安を抱いている。

## 属性別の傾向



性別では、女性で「積極的に活用したい」とした割合が42.1%と男性に比べ10ポイント近く高いとなっているが、男性では「活用したいが、施業技術等が不安である」の割合が高く、「積極的に活用したい」「活用したいが、施業技術等が不安である」を合わせたその活用に前向きな割合は、男性が69.3%、女性が52.6%となっている。

道路との位置関係では、「道路と離れている」とした人で「積極的に活用したい」「活用したいが、施業技術等が不安である」を合わせた割合が72.5%となっているが、「道路に隣接している」とした人では63.9%と、10ポイント近い開きがある。

#### 「活用したくない」の理由

「活用したくない」理由では、25件（全体の4.8%）の意見が出された。

主な意見は、「高齢のため」（5件）「自分の山は自分で守りたい」「小規模でも個人ができる範囲で管理していきたい」（5件）となっている。

その他では、以下の意見が出された。

- ・無報酬の活動に真剣に取り組む人がどれだけいるのか疑問。林業のプロにお願いしたい
- ・1年や2年続いて、いつかはやらなくなる。永久に続くとは思えない
- ・ボランティアに頼るような経営はありえない

#### 「その他」の意見

「その他」では、32件（全体の6.1%）の意見や要望が出された。

主な内容は、「そんなに簡単に森林ボランティアで出来るとは思わない」などボランティアを活用したいと思うが、その技術力、継続性を疑問視する意見が多く出されている。次いで、「森林ボランティア制度がよくわからない」といった情報不足、情報の提供に係る意見が目立っているほか、「所有者が主体的に森林づくりをするべき」といった意見が見られる。

以下に主な意見を列挙する。

##### 【技術力、継続性を疑問視】

- ・活用したいが、将来も継続できるか不安
- ・そんなに簡単に森林ボランティアで出来るとは思わない
- ・森林の手入れ等はとても重労働で、そんなに甘くない。それに見合う対価が得られるとは現状では思えない
- ・積極的に活用したいが、専門的なことを頼めない

##### 【情報不足】

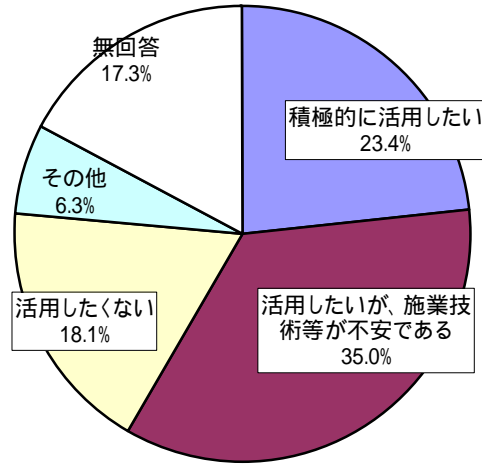
- ・活用したいがどうすればよいか分からない
- ・森林ボランティア制度がよくわからない

##### 【所有者が主体的に】

- ・基本的には住人が主体的に森林づくりをするべきだと考える
- ・個人の山林にボランティアの介入は抵抗を感じる
- ・私有林についてはその必要がないと思う

問8 森林所有者が提供する森林を、希望する人が利用料を払って森林整備やきのこ収穫など楽しむ仕組み（里山林オーナー制度）があります。あなたは、この方法で森林の手入れを行うことについてどう思いますか。次の中から1つあげてください。

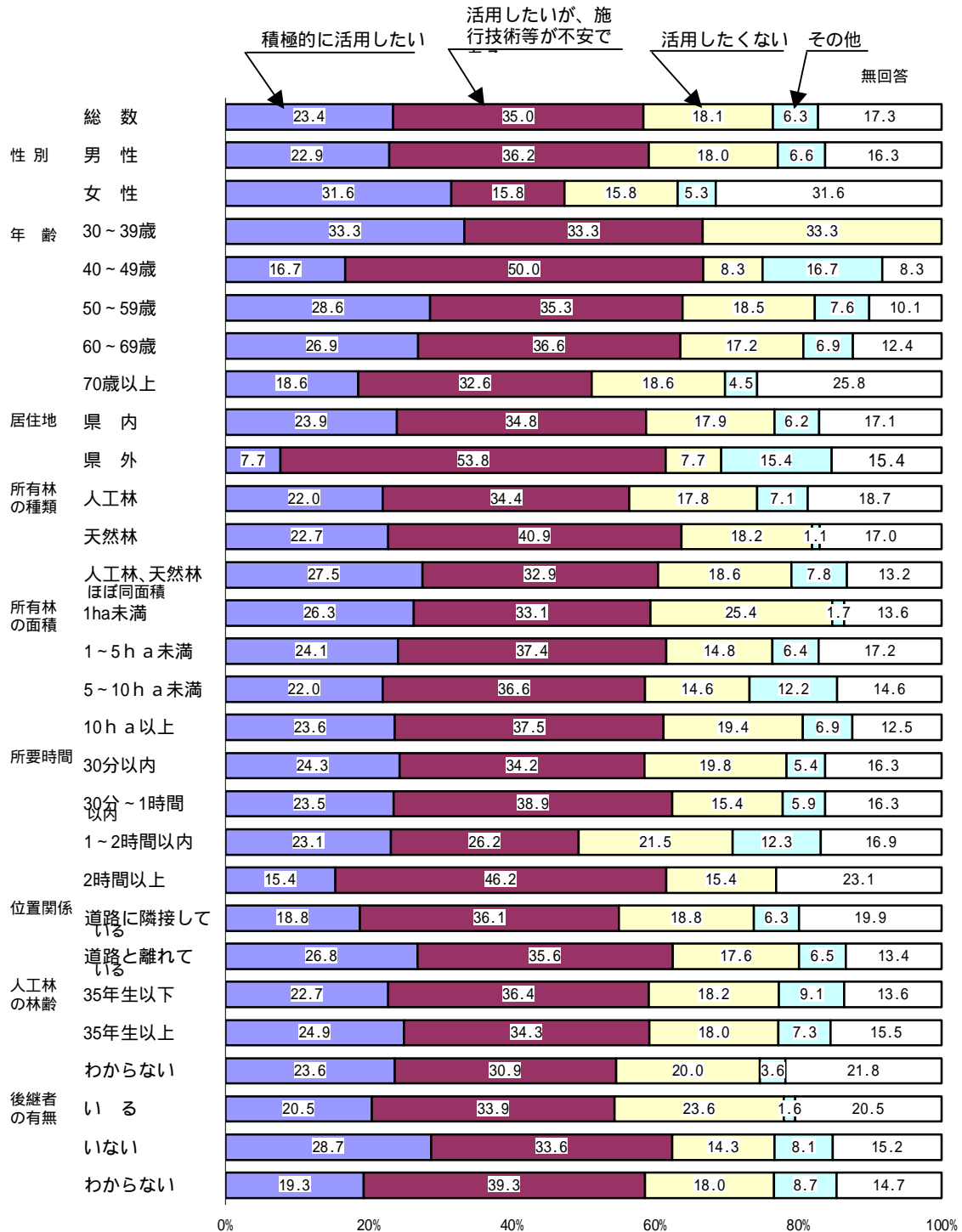
図表8 里山林オーナー制度の活用希望について



	回答数	割合 (%)
1 . 積極的に活用したい	123	23.4
2 . 活用したいが、施業技術等が不安である	184	35.0
3 . 活用したくない	95	18.1
4 . その他	33	6.3
無回答	91	17.3
計	526	100.0

里山オーナー制度の活用には58.4%が前向きであるが、35%はオーナーとなる人の施業技術等に不安があるとしている。

## 属性別の傾向



性別では、女性で「積極的に活用したい」とした割合が31.6%と男性に比べ10ポイント近く高い高くなっているが、男性では「活用したいが、施業技術等が不安である」の割合が高く、「積極的に活用したい」「活用したいが、施業技術等が不安である」を合わせたその活用に前向きな割合は、男性が59.1%、女性が47.4%となっている。



道路との位置関係では、「道路と離れている」とした人で「積極的に活用したい」「活用したいが、施業技術等が不安である」を合わせた割合が62.4%となっているが、「道路に隣接している」とした人では54.9%となっている。

後継者の有無では、「いる」とした人で「活用したくない」とする割合が「いない」とした人よりも高くなっている。一方で、「積極的に活用したい」とする割合では、「いない」とした人が「いる」とした人より高くなっている。

#### 「活用したくない」の理由

「活用したくない」理由では、36件（全体の6.8%）の意見が出された。

主な内容は、「森林境界がはっきりしない」、「道路や周辺の整備状況が悪い」、「地形が険しい」ことなどから作業が出来ないか、しづらいことなどが指摘されている。このほか、「技術力や継続性に不安を感じる」、「所有者が管理するほうが望ましい」、「森林を荒らされる」などさまざまな理由が出されている。

以下に主な意見を列挙する。

##### 【作業困難地である】

- ・境界がはっきりしないため
- ・場所が悪いのでオーナーになる人がいないと思う
- ・道路の整備が悪いので無理
- ・森林の面積が少ないので

##### 【技術力や継続性に不安】

- ・地域性もあり、安心して任せられるか疑問を感じる
- ・過去の例を見ても成功例が少なすぎる
- ・続くかどうかわからない

##### 【所有者が主体的に】

- ・所有者が管理するのが好ましい

##### 【森林を荒らされる】

- ・荒らされたり、勝手なことをされては困る
- ・マナーを守らず、森林を荒らす
- ・いろいろな人が入り、誰が里山オーナーかわからなくなるから

#### 「その他」の意見

「その他」では、28件（全体の5.3%）の意見や要望が出された。

主な内容は、「活用したいが、将来も継続できるか不安」、「素人が管理するのは難しい」など技術力、継続性に不安を感じ、活用をためらう意見が多く出されている。このほか、「植林地は集中しておらず、飛び地と傾斜面の多い」、「急傾斜地が多い」ため作業は容易ではないこと、「きのこの収穫といっても、広域的・長期的構想がないと行えない」など活用に否定的な意見が多く出されている。

以下に主な意見を列挙する。

**【技術力、継続性を疑問視】**

- ・活用したいが、将来も継続できるか不安
- ・素人が管理するのは難しいのではないかと思う
- ・長続きしない
- ・結構だがお祭り気分では困る

**【作業困難地である】**

- ・地形が急傾斜で不適
- ・出来る状態の山林ではない
- ・植林地は集中しておらず、飛び地と傾斜面山地であるため、作業は容易ではない

**【情報不足】**

- ・活用してもよいと思うが、良好に継続するためには、オーナー同士またはオーナーと住人のコミュニケーションを図らなければならないと考える
- ・何年も使用すると利用者の権限が強くなりそうで、そうなると困る

**【森林を荒らされる】**

- ・活用したいが、近年無断できのこを取る人が多く、区別がつかなくなるのが心配

## 【その他の自由記述意見】

問：その他のご意見がありましたら自由にお書きください。

森林づくりに対しては、133件（全体の25.3%）の意見や要望が出された。

主な内容は、「林業の振興対策」に係る意見が最も多く出されている。次いで「木材の価格等流通対策、地産地消の推進」「森林の種類」などについての意見、要望が多くなっている。

### 森林づくりに関する自由意見内訳

項 目	件数（件）	割合（％）	全回収数に対する割合（％）
1 林業の振興対策	28	21.1	5.3
2 木材の価格等流通対策、地産地消の推進	23	17.3	4.4
3 森林の種類	13	9.8	2.5
4 後継者等	9	6.8	1.7
5 森林組合	7	5.3	1.3
6 里山林オーナー、ボランティア等	6	4.5	1.1
7 自然との共生	5	3.8	1.0
7 森林境界の確定	5	3.8	1.0
その他	37	27.8	7.0
計	133	100.0	25.3

以下に、主な意見や要望を列挙する。

#### 【林業の振興対策】

- ・ 林道、作業道の整備を期待する。
- ・ 人件費がかさむので助成があれば有難い。
- ・ 昔からの作業道復元の気運も高まっていたが、台風被害により困難となってしまった。倒木の処理も兼ね、作業道の整備を図ってほしい。
- ・ これからの林業への方針を具体的かつ明確にしてほしい。
- ・ 山林では厳しすぎて森林ボランティアなど成立するはずがない。それよりも山林道の整備、広葉樹の活用など、将来的なマーケティングについて研究し、林業に携わる人が誇りを持ち、安心して林業に従事できるような施策を考えるべきである。
- ・ ボランティア、里山オーナー等のような施策ではなく、もっと抜本的な改革を期待する。

#### 【木材の価格等流通対策、地産地消の推進】

- ・ 国産木材の販路の拡大が第一。
- ・ 木材の価格低迷に対処する施策を推進してほしい。
- ・ 国内の木材を外材より買いやすい値段に設定し、木材の消費拡大を図ってもらいたい。

- ・戦後、援助を得て杉の植林、手入れをしてきたが、現在では子供の家を建てるにも伐採費用が高く外材を使うしかないのが現状。地産地消を奨励して、地元材の使用を支援してほしい。
- ・県産材の利用を促進し、外材利用の抑制を。
- ・木材加工利用技術の促進。

#### 【森林の種類】

- ・どんぐりなどの再生林を育てたいと思う。
- ・従来の植林事業では杉の植林一本槍だったが、それを反省し広葉樹を植えるべき。
- ・杉等の植林が多く行われているが、後の管理がほとんどなされてない。必要以外の場所に杉の植林をしてほしくない。広葉樹などの植林も進めるべきではないか。

#### 【後継者等】

- ・退職後、森林の手入れをしてきたが、自分ができなくなった後が不安
- ・私には後継者がなく、今後残された山をどうすればよいかわからない。行政当局との話し合いの場を提供していただきたいと思う
- ・以前森林の整備をしていた人々が山を離れ、手入れする者がいなくなるなか頑張ってきたが、今後は心配

#### 【森林組合】

- ・森林組合の強化を図り、山間部や里山地域で活動する組織の充実と拡大、その地域の生活環境整備をし、森林の健全化につながっていくべき
- ・森林組合等の機能をもっと有効に活用できないか

#### 【里山オーナー、ボランティア等】

- ・里山林オーナー制度に関して、積極的に活用したいのだが、PRが少し足りないのでは
- ・ボランティアやオーナー制度にしても後継者が育たないとダメ
- ・森林ボランティア・里山林オーナー等、よりよい制度であり、進めるべきと考えるが、個人資産でもあり、所有者の意向の把握、境界の確認など、事前の十分な調整が不可欠と考える

#### 【自然との共生】

- ・クマの出没で山へ入ることが出来ず、困っている。そのため雑草の手入れがなされず、ますます山に近寄れない
- ・熊と共存できるように雑木を植林する必要がある

#### 【森林境界の確定】

- ・森林の境界がはっきりしない箇所が多くあり、登記所の図面でははっきり分からず困っている。町役場等で境界杭を打つ方法を考えてほしい
- ・今、森林境界の確定が最重要課題だと思う。伐採や災害に関する対応や長期委託による保育管理についても、境界が明確でないと何も打つ手はない。山の測量は都市部と違ってもう少し簡易な方法（精度は多少落ちてても）GPSなどの利用で十分である。コストをおさえ、迅速に作業を進める必要がある

調査結果の数表

問1 あなたの所有されている森林に行ったのはいつですか。  
次の中から1つあげてください。

		総 数	のこ うこ ち1 に 行 った 2 年 以 内	の3 年 ち に 1 行 った 年 以 内	こ1 0 年 が な い 以上 行 った	が 一 度 も 行 った こと ない	無 回 答
総	数	526	49.4	22.2	21.3	4.4	2.7
性 別	男 性	472	49.6	22.0	21.2	4.4	2.8
	女 性	38	44.7	23.7	26.3	2.6	2.6
	不 明	16	56.3	25.0	12.5	6.3	-
年 齢 別	20～29歳	1	-	-	-	100.0	-
	30～39歳	3	33.3	33.3	33.3	-	-
	40～49歳	24	37.5	25.0	29.2	4.2	4.2
	50～59歳	119	43.7	24.4	26.9	3.4	1.7
	60～69歳	145	51.7	22.1	20.7	3.4	2.1
	70歳以上	221	52.0	20.8	18.6	5.0	3.6
	不 明	13	61.5	23.1	7.7	7.7	-
居 住 地	県 内	497	49.5	21.9	21.9	4.0	2.6
	県 外	13	30.8	38.5	15.4	15.4	-
	不 明	16	62.5	18.8	6.3	6.3	6.3
所 有 種 類 の	人工林	241	56.8	17.8	18.7	3.7	2.9
	天然林	88	31.8	25.0	30.7	9.1	3.4
	人工林、天然林ほぼ同面積	167	47.3	26.3	21.6	3.0	1.8
	不 明	30	53.3	26.7	13.3	3.3	3.3
所 有 林 の 面 積	1ha未満	118	43.2	20.3	33.1	2.5	0.8
	1～5ha未満	203	54.2	23.2	15.3	3.9	3.4
	5～10ha未満	82	47.6	17.1	24.4	7.3	3.7
	10ha以上	72	51.4	29.2	16.7	1.4	1.4
	不 明	51	45.1	21.6	19.6	9.8	3.9
所 要 時 間	30分以内	202	52.0	20.8	21.8	3.5	2.0
	30分～1時間以内	221	47.5	24.4	20.8	4.5	2.7
	1～2時間以内	65	49.2	24.6	21.5	1.5	3.1
	2時間以上	13	23.1	7.7	30.8	30.8	7.7
	不 明	25	60.0	16.0	16.0	4.0	4.0
関 係 位 置	道路に隣接している	191	55.5	21.5	17.8	3.1	2.1
	道路と離れている	306	44.8	23.2	24.8	4.9	2.3
	不 明	29	58.6	17.2	6.9	6.9	10.3
人 工 林 の 年 齢	35年生以下	132	50.0	28.0	16.7	2.3	3.0
	35年生以上	245	57.1	18.8	17.6	4.5	2.0
	わからない	55	27.3	23.6	36.4	9.1	3.6
	不 明	94	41.5	22.3	28.7	4.3	3.2
後 継 者 の 有 無	い る	127	53.5	18.1	19.7	5.5	3.1
	い ない	223	43.9	22.0	26.9	4.5	2.7
	わからない	150	53.3	27.3	15.3	2.7	1.3
	不 明	26	53.8	15.4	15.4	7.7	7.7

問2 あなたの所有されている森林の手入れをしていますか(森林組合などへの施業委託も含次の中から1つあげてください。

		総 数	し て い る	し て い な い が 手 入 れ を し て い な い 最 近 を し	手 入 れ の 必 要 が な い ( 天 然 林 な ど 、 高 齢 人 工 林 な ど )	し て い な い	無 回 答
総	数	526	22.6	48.9	4.4	22.6	1.5
性 別	男 性	472	23.5	48.5	4.7	22.0	1.3
	女 性	38	10.5	50.0	2.6	36.8	-
	不 明	16	25.0	56.3	-	6.3	12.5
年 齢 別	20～29歳	1	-	-	-	100.0	-
	30～39歳	3	-	100.0	-	-	-
	40～49歳	24	16.7	37.5	4.2	41.7	-
	50～59歳	119	16.0	47.1	3.4	31.9	1.7
	60～69歳	145	20.7	52.4	2.1	23.4	1.4
	70歳以上	221	28.1	48.4	6.8	15.8	0.9
	不 明	13	30.8	46.2	-	7.7	15.4
居 住 地	県 内	497	22.9	49.3	4.4	22.1	1.2
	県 外	13	7.7	30.8	7.7	53.8	-
	不 明	16	25.0	50.0	-	12.5	12.5
所 有 林 の 種 類	人工林	241	30.7	51.9	1.7	15.4	0.4
	天然林	88	9.1	22.7	12.5	54.5	1.1
	人工林、天然林ほぼ同面積	167	19.2	59.3	4.8	15.0	1.8
	不 明	30	16.7	43.3	-	30.0	10.0
所 有 林 の 面 積	1ha未満	118	15.3	47.5	5.9	31.4	-
	1～5ha未満	203	20.7	57.6	3.4	16.3	2.0
	5～10ha未満	82	29.3	42.7	4.9	22.0	1.2
	10ha以上	72	38.9	44.4	1.4	15.3	-
	不 明	51	13.7	33.3	7.8	39.2	5.9
所 要 時 間	30分以内	202	27.2	45.5	4.0	22.3	1.0
	30分～1時間以内	221	19.5	53.8	4.1	21.3	1.4
	1～2時間以内	65	24.6	53.8	7.7	13.8	-
	2時間以上	13	-	23.1	7.7	69.2	-
	不 明	25	20.0	32.0	-	36.0	12.0
関 係 位 置	道路に隣接している	191	33.5	48.2	4.2	13.6	0.5
	道路と離れている	306	15.4	50.3	4.6	28.4	1.3
	不 明	29	27.6	37.9	3.4	20.7	10.3
人 工 林 の 年 齢	35年生以下	132	35.6	50.8	2.3	10.6	0.8
	35年生以上	245	23.3	57.1	3.7	15.1	0.8
	わからない	55	7.3	34.5	3.6	52.7	1.8
	不 明	94	11.7	33.0	9.6	41.5	4.3
後 継 者 の 有 無	いる	127	37.8	40.2	3.9	15.7	2.4
	いない	223	15.7	52.0	4.9	26.5	0.9
	わからない	150	20.0	52.0	4.0	24.0	-
	不 明	26	23.1	46.2	3.8	15.4	11.5

問3 あなたの所有されている森林の現状をどう思いますか。  
次の中から1つあげてください。

		総 数	と か な り 荒 れ て い る	少 し 荒 れ て い る と 思 う	適 正 で あ る と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
総	数	526	41.4	37.5	10.8	8.6	1.7
性 別	男 性	472	41.9	37.5	11.2	7.8	1.5
	女 性	38	39.5	34.2	7.9	18.4	-
	不 明	16	31.3	43.8	6.3	6.3	12.5
年 齢 別	20～29歳	1	100.0	-	-	-	-
	30～39歳	3	33.3	33.3	-	33.3	-
	40～49歳	24	29.2	37.5	-	33.3	-
	50～59歳	119	44.5	37.8	6.7	9.2	1.7
	60～69歳	145	52.4	31.0	11.0	4.1	1.4
	70歳以上	221	34.4	41.2	14.5	8.6	1.4
	不 明	13	30.8	46.2	7.7	-	15.4
居 住 地	県 内	497	41.4	38.2	10.9	8.0	1.4
	県 外	13	46.2	7.7	7.7	38.5	-
	不 明	16	37.5	37.5	12.5	-	12.5
所 有 林 の 種 類	人工林	241	31.1	42.7	18.3	7.5	0.4
	天然林	88	55.7	21.6	5.7	14.8	2.3
	人工林、天然林ほぼ同面積	167	50.3	39.5	3.6	4.8	1.8
	不 明	30	33.3	30.0	6.7	20.0	10.0
所 有 林 の 面 積	1ha未満	118	43.2	31.4	10.2	14.4	0.8
	1～5ha未満	203	41.4	42.4	10.8	3.4	2.0
	5～10ha未満	82	45.1	40.2	9.8	3.7	1.2
	10ha以上	72	43.1	36.1	16.7	4.2	-
	不 明	51	29.4	29.4	5.9	29.4	5.9
所 要 時 間	30分以内	202	39.6	40.1	13.9	5.4	1.0
	30分～1時間以内	221	42.5	37.6	9.0	9.0	1.8
	1～2時間以内	65	41.5	36.9	12.3	9.2	-
	2時間以上	13	61.5	7.7	-	30.8	-
	不 明	25	36.0	32.0	4.0	16.0	12.0
関 係 位 置	道路に隣接している	191	32.5	46.1	15.2	5.2	1.0
	道路と離れている	306	48.7	32.0	8.5	9.5	1.3
	不 明	29	24.1	37.9	6.9	20.7	10.3
人 工 林 の 年 齢	35年生以下	132	33.3	47.7	15.9	2.3	0.8
	35年生以上	245	40.0	40.8	13.1	5.3	0.8
	わからない	55	52.7	16.4	-	29.1	1.8
	不 明	94	50.0	26.6	4.3	13.8	5.3
後 継 者 の 有 無	いる	127	25.2	44.1	22.8	5.5	2.4
	いない	223	50.7	31.8	6.3	10.3	0.9
	わからない	150	42.0	40.7	8.0	8.7	0.7
	不 明	26	38.5	34.6	7.7	7.7	11.5

問4 あなたの所有されている森林について、今後、どのようにしていきたいと思えますか。  
次の中から1つあげてください。

		総 数	行積 いた たい に手 入れ を	れ支 を援 行が いた れば 手入	級い手 人(入 工天 林然 な林 など、 高は 齢な	つる手 もりが 入れが 入れ必 は入れ ない要 を行 うであ	わ から ない	無 回 答
総	数	526	11.0	37.1	10.5	26.2	9.9	5.3
性 別	男 性	472	11.9	36.7	11.0	26.3	9.1	5.1
	女 性	38	5.3	36.8	2.6	28.9	21.1	5.3
	不 明	16	-	50.0	12.5	18.8	6.3	12.5
年 齢 別	20～29歳	1	-	-	-	-	100.0	-
	30～39歳	3	-	66.7	-	-	33.3	-
	40～49歳	24	-	50.0	4.2	25.0	20.8	-
	50～59歳	119	6.7	40.3	9.2	26.1	15.1	2.5
	60～69歳	145	13.1	36.6	9.7	33.1	4.8	2.8
	70歳以上	221	14.0	33.5	12.2	22.6	9.0	8.6
	不 明	13	-	46.2	15.4	23.1	-	15.4
居 住 地	県 内	497	11.7	37.4	10.3	25.8	9.7	5.2
	県 外	13	-	15.4	7.7	53.8	23.1	-
	不 明	16	-	43.8	18.8	18.8	6.3	12.5
所 有 林 の 種 類	人工林	241	17.4	38.6	10.4	22.0	7.9	3.7
	天然林	88	3.4	15.9	20.5	33.0	17.0	10.2
	人工林、天然林ほぼ同面積	167	7.8	46.1	6.0	29.9	6.6	3.6
	不 明	30	-	36.7	6.7	20.0	23.3	13.3
所 有 林 の 面 積	1ha未満	118	9.3	28.8	13.6	30.5	14.4	3.4
	1～5ha未満	203	14.3	38.9	8.9	25.6	7.4	4.9
	5～10ha未満	82	7.3	42.7	13.4	26.8	6.1	3.7
	10ha以上	72	15.3	41.7	6.9	23.6	6.9	5.6
	不 明	51	2.0	33.3	9.8	21.6	19.6	13.7
所 要 時 間	30分以内	202	13.4	39.1	13.4	25.2	5.4	3.5
	30分～1時間以内	221	10.0	35.7	8.6	28.5	11.3	5.9
	1～2時間以内	65	13.8	41.5	6.2	20.0	13.8	4.6
	2時間以上	13	-	7.7	15.4	46.2	23.1	7.7
	不 明	25	-	36.0	12.0	20.0	16.0	16.0
関 係 位 置	道路に隣接している	191	14.1	42.9	9.9	18.8	8.4	5.8
	道路と離れている	306	9.2	34.0	10.8	32.4	9.5	4.2
	不 明	29	10.3	31.0	10.3	10.3	24.1	13.8
人 工 林 の 年 齢	35年生以下	132	23.5	35.6	9.1	22.7	6.8	2.3
	35年生以上	245	10.2	42.9	9.8	26.5	6.5	4.1
	わからない	55	1.8	30.9	3.6	36.4	21.8	5.5
	不 明	94	1.1	27.7	18.1	24.5	16.0	12.8
後 継 者 の 有 無	いる	127	22.8	38.6	9.4	15.7	8.7	4.7
	いない	223	8.1	34.1	9.9	33.2	8.5	6.3
	わからない	150	7.3	40.0	12.0	25.3	13.3	2.0
	不 明	26	-	38.5	11.5	23.1	7.7	19.2



問5 問4で「4.手入れが必要であるが手入れを行うつもりはない」をあげた方にお聞き  
 自己負担がなければ、森林の手入れを行いますか。  
 次の中から1つあげてください。

		総数	はい	いいえ	その他	無回答
総数		138	68.1	24.6	5.1	2.2
性別	男性	124	69.4	22.6	5.6	2.4
	女性	11	54.5	45.5	-	-
	不明	3	66.7	33.3	-	-
年齢別	20～29歳	-	-	-	-	-
	30～39歳	-	-	-	-	-
	40～49歳	6	66.7	16.7	-	16.7
	50～59歳	31	80.6	19.4	-	-
	60～69歳	48	64.6	25.0	8.3	2.1
	70歳以上	50	64.0	28.0	6.0	2.0
	不明	3	66.7	33.3	-	-
居住地	県内	128	68.8	25.0	3.9	2.3
	県外	7	57.1	14.3	28.6	-
	不明	3	66.7	33.3	-	-
所有林の種類	人工林	53	58.5	30.2	7.5	3.8
	天然林	29	89.7	6.9	3.4	-
	人工林、天然林ほぼ同面積	50	68.0	26.0	4.0	2.0
	不明	6	50.0	50.0	-	-
所有林の面積	1ha未満	36	63.9	25.0	8.3	2.8
	1～5ha未満	52	69.2	26.9	3.8	-
	5～10ha未満	22	77.3	13.6	4.5	4.5
	10ha以上	17	58.8	29.4	5.9	5.9
	不明	11	72.7	27.3	-	-
所要時間	30分以内	51	72.5	27.5	-	-
	30分～1時間以内	63	63.5	25.4	6.3	4.8
	1～2時間以内	13	53.8	23.1	23.1	-
	2時間以上	6	100.0	-	-	-
	不明	5	80.0	20.0	-	-
関係位置	道路に隣接している	36	58.3	36.1	2.8	2.8
	道路と離れている	99	71.7	20.2	6.1	2.0
	不明	3	66.7	33.3	-	-
人工林の年齢	35年生以下	30	73.3	26.7	-	-
	35年生以上	65	61.5	26.2	9.2	3.1
	わからない	20	65.0	30.0	-	5.0
	不明	23	82.6	13.0	4.3	-
後継者の有無	いる	20	75.0	20.0	-	5.0
	いない	74	67.6	27.0	4.1	1.4
	わからない	38	63.2	23.7	10.5	2.6
	不明	6	83.3	16.7	-	-

問6 森林の手入れを行うため、どのような支援があればよいと思われますか。  
次の中から2つまであげてください。

	総 数	ポ ラ ン テ ィ ア な ど の 労 働 力	技 術 の 指 導	機 材 の 貸 与 や 資 材 供 給 ( 苗 木 な ど )	森 林 の 手 入 れ や 再 造 に 向 け た 資 金	林 道 、 作 業 道 、 歩 道 な ど の 整 備	森 林 境 界 の 確 定	そ の 他	無 回 答	
総 数	526	23.6	10.5	13.9	22.4	34.0	28.1	6.5	13.5	
性 別	男 性	472	22.0	10.8	14.4	23.1	35.0	29.7	6.6	12.3
	女 性	38	44.7	2.6	5.3	15.8	23.7	15.8	7.9	23.7
	不 明	16	18.8	18.8	18.8	18.8	31.3	12.5	-	25.0
年 齢 別	20～29歳	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
	30～39歳	3	-	-	-	66.7	66.7	33.3	-	-
	40～49歳	24	33.3	16.7	20.8	37.5	25.0	29.2	4.2	4.2
	50～59歳	119	21.0	12.6	17.6	27.7	31.1	40.3	7.6	5.9
	60～69歳	145	22.1	11.7	17.2	23.4	37.2	30.3	6.2	10.3
	70歳以上	221	25.3	7.7	9.0	17.2	34.4	20.8	6.8	19.9
	不 明	13	15.4	15.4	15.4	15.4	30.8	7.7	-	30.8
居 住 地	県 内	497	23.9	10.5	14.3	22.5	34.2	28.6	6.4	12.9
	県 外	13	15.4	7.7	-	30.8	38.5	23.1	7.7	23.1
	不 明	16	18.8	12.5	12.5	12.5	25.0	18.8	6.3	25.0
所 有 林 類 別	人 工 林	241	20.7	10.0	15.8	24.5	33.2	29.9	5.4	12.4
	天 然 林	88	34.1	12.5	13.6	17.0	29.5	26.1	4.5	15.9
	人 工 林、天 然 林 ほ ぼ 同 面 積	167	22.8	10.8	12.6	24.6	38.9	28.7	7.8	10.2
	不 明	30	20.0	6.7	6.7	10.0	26.7	16.7	13.3	33.3
所 有 林 面 積 別	1ha未満	118	23.7	11.0	16.9	14.4	32.2	37.3	2.5	13.6
	1～5ha未満	203	22.2	8.9	15.3	26.1	36.0	29.1	8.9	10.3
	5～10ha未満	82	24.4	18.3	7.3	29.3	35.4	19.5	3.7	11.0
	10ha以上	72	26.4	8.3	11.1	23.6	40.3	22.2	8.3	13.9
	不 明	51	23.5	5.9	15.7	13.7	19.6	25.5	7.8	29.4
所 要 時 間	30分以内	202	25.7	11.9	17.3	21.8	28.7	32.2	3.5	10.9
	30分～1時間以内	221	22.6	10.9	14.0	24.0	38.9	25.8	6.8	14.0
	1～2時間以内	65	23.1	1.5	7.7	24.6	40.0	27.7	13.8	10.8
	2時間以上	13	15.4	23.1	-	15.4	15.4	30.8	15.4	15.4
	不 明	25	20.0	12.0	8.0	12.0	28.0	16.0	4.0	36.0
関 係 位 置	道 路 に 隣 接 し て い る	191	26.2	13.6	17.3	24.1	20.4	29.3	5.8	15.2
	道 路 と 離 れ て い る	306	22.5	8.5	12.4	22.2	43.5	29.1	6.9	9.8
	不 明	29	17.2	10.3	6.9	13.8	24.1	10.3	6.9	41.4
人 工 林 年 齢 別	35年生以下	132	20.5	12.1	18.9	21.2	35.6	26.5	8.3	8.3
	35年生以上	245	23.3	10.6	12.7	27.8	34.7	27.8	6.1	12.7
	わ か ら な い	55	27.3	12.7	10.9	18.2	30.9	38.2	5.5	10.9
	不 明	94	26.6	6.4	11.7	12.8	31.9	25.5	5.3	24.5
後 継 者 有 無 別	い る	127	22.0	10.2	12.6	23.6	35.4	26.8	3.9	17.3
	い な い	223	25.1	11.7	15.2	21.1	33.2	32.3	6.3	10.3
	わ か ら な い	150	22.7	9.3	14.0	24.7	35.3	24.7	9.3	12.0
	不 明	26	23.1	7.7	7.7	15.4	26.9	19.2	3.8	30.8

問7 県民参加の森林づくりを進めていく動きもありますが、あなたは、市町村や地域と協定を結んだうえで、森林ボランティアが無償で森林づくりを行うことについてどう思いますか。次の中から1つあげてください。

		総 数	積 極 的 に 活 用 し た い	技 術 等 が 不 安 が 、 施 業	活 用 し た く な い	そ の 他	無 回 答
総	数	526	34.0	34.0	10.3	6.3	15.4
性 別	男 性	472	33.9	35.4	9.7	6.6	14.4
	女 性	38	42.1	10.5	15.8	5.3	26.3
	不 明	16	18.8	50.0	12.5	-	18.8
年 齢 別	20～29歳	1	100.0	-	-	-	-
	30～39歳	3	33.3	33.3	33.3	-	-
	40～49歳	24	29.2	45.8	4.2	12.5	8.3
	50～59歳	119	37.0	36.1	6.7	7.6	12.6
	60～69歳	145	37.9	35.9	11.0	5.5	9.7
	70歳以上	221	30.8	30.3	11.8	5.9	21.3
	不 明	13	23.1	38.5	15.4	-	23.1
居 住 地	県 内	497	34.8	33.8	10.1	6.2	15.1
	県 外	13	15.4	46.2	7.7	15.4	15.4
	不 明	16	25.0	31.3	18.8	-	25.0
所 有 林 の 種 類	人工林	241	33.2	33.2	11.6	6.2	15.8
	天然林	88	34.1	37.5	6.8	1.1	20.5
	人工林、天然林ほぼ同面積	167	37.1	34.1	10.8	9.0	9.0
	不 明	30	23.3	30.0	6.7	6.7	33.3
所 有 林 の 面 積	1ha未満	118	42.4	30.5	12.7	1.7	12.7
	1～5ha未満	203	31.5	38.4	8.4	7.4	14.3
	5～10ha未満	82	30.5	36.6	13.4	6.1	13.4
	10ha以上	72	38.9	31.9	6.9	11.1	11.1
	不 明	51	23.5	23.5	11.8	5.9	35.3
所 要 時 間	30分以内	202	36.6	32.2	11.4	5.4	14.4
	30分～1時間以内	221	33.9	38.5	8.1	5.9	13.6
	1～2時間以内	65	30.8	26.2	13.8	12.3	16.9
	2時間以上	13	30.8	38.5	15.4	-	15.4
	不 明	25	24.0	28.0	8.0	4.0	36.0
関 係 位 置	道路に隣接している	191	30.9	33.0	12.0	7.3	16.8
	道路と離れている	306	36.9	35.6	9.2	5.9	12.4
	不 明	29	24.1	24.1	10.3	3.4	37.9
人 工 林 の 年 齢	35年生以下	132	34.1	38.6	8.3	10.6	8.3
	35年生以上	245	35.5	32.7	12.2	6.1	13.5
	わからない	55	34.5	25.5	12.7	5.5	21.8
	不 明	94	29.8	36.2	6.4	1.1	26.6
後 継 者 の 有 無	いる	127	38.6	29.1	11.8	5.5	15.0
	いない	223	35.9	33.6	9.9	7.6	13.0
	わからない	150	30.0	39.3	9.3	6.0	15.3
	不 明	26	19.2	30.8	11.5	-	38.5

問8 森林所有者が提供する森林を、希望する人が利用料を払って森林整備やきのこ収穫など楽しむ仕組み(里山林オーナー制度)があります。あなたは、この方法で森林の手入れを行うことについてどう思いますか。次の中から1つあげてください。

	総数	積極的に活用したい	活用したいが不安である	活用したくない	その他	無回答	
総数	526	23.4	35.0	18.1	6.3	17.3	
性別	男性	472	22.9	36.2	18.0	6.6	16.3
	女性	38	31.6	15.8	15.8	5.3	31.6
	不明	16	18.8	43.8	25.0	-	12.5
年齢別	20～29歳	1	100.0	-	-	-	-
	30～39歳	3	33.3	33.3	33.3	-	-
	40～49歳	24	16.7	50.0	8.3	16.7	8.3
	50～59歳	119	28.6	35.3	18.5	7.6	10.1
	60～69歳	145	26.9	36.6	17.2	6.9	12.4
	70歳以上	221	18.6	32.6	18.6	4.5	25.8
	不明	13	23.1	30.8	30.8	-	15.4
居住地	県内	497	23.9	34.8	17.9	6.2	17.1
	県外	13	7.7	53.8	7.7	15.4	15.4
	不明	16	18.8	25.0	31.3	-	25.0
所有林の種類	人工林	241	22.0	34.4	17.8	7.1	18.7
	天然林	88	22.7	40.9	18.2	1.1	17.0
	人工林、天然林ほぼ同面積	167	27.5	32.9	18.6	7.8	13.2
	不明	30	13.3	33.3	16.7	6.7	30.0
所有林の面積	1ha未満	118	26.3	33.1	25.4	1.7	13.6
	1～5ha未満	203	24.1	37.4	14.8	6.4	17.2
	5～10ha未満	82	22.0	36.6	14.6	12.2	14.6
	10ha以上	72	23.6	37.5	19.4	6.9	12.5
	不明	51	15.7	23.5	17.6	5.9	37.3
所要時間	30分以内	202	24.3	34.2	19.8	5.4	16.3
	30分～1時間以内	221	23.5	38.9	15.4	5.9	16.3
	1～2時間以内	65	23.1	26.2	21.5	12.3	16.9
	2時間以上	13	15.4	46.2	15.4	-	23.1
	不明	25	20.0	24.0	20.0	4.0	32.0
関係位置	道路に隣接している	191	18.8	36.1	18.8	6.3	19.9
	道路と離れている	306	26.8	35.6	17.6	6.5	13.4
	不明	29	17.2	20.7	17.2	3.4	41.4
人工林の年齢	35年生以下	132	22.7	36.4	18.2	9.1	13.6
	35年生以上	245	24.9	34.3	18.0	7.3	15.5
	わからない	55	23.6	30.9	20.0	3.6	21.8
	不明	94	20.2	37.2	17.0	1.1	24.5
後継者の有無	いる	127	20.5	33.9	23.6	1.6	20.5
	いない	223	28.7	33.6	14.3	8.1	15.2
	わからない	150	19.3	39.3	18.0	8.7	14.7
	不明	26	15.4	26.9	23.1	-	34.6

## 使用した調査票

平成17年7月

## 『水と緑の森づくりに関する県民意識調査』について(お願い)

富 山 県

日頃より、県政についてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
さて、県では、「とやまの森林」を荒廃から守り、未来に引き継ぐための対策について検討しているところです。その取りまとめにあたりまして、県民の皆様の森づくりに関する意向を反映させるため、県内に居住されている方を対象とした意識調査を実施することといたしました。

この調査は、20歳以上の県民の皆様の中から無作為に2500人を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。お答えいただきました内容は、調査の目的以外に使用することはありませんので、あなたご自身のご意見をご記入ください。

ご面倒とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

### 調査票のご記入にあたって

1. この調査は無記名方式です。調査票にも返信用封筒にも、お名前を記入していただく必要はありません。
2. 回答はあて名の方ご自身をご記入ください。
3. 回答の方法は、あてはまると思うものの番号に○をつける方式です。
4. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**8月8日(月)までにポストにお入れください。**切手を貼る必要はありません。

#### 【お問い合わせ先】

富山県農林水産部森林政策課みどり企画係  
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号  
電話 076-444-3385 (直通)

## 水と緑の森づくりに関する県民意識調査

昨年は、クマがたくさん出現し、県内でも死者や重傷者が出ました。これは、森林の荒廃と関係があるとも言われています。森林は木材生産の場でもありますが、最近では、地球温暖化防止、水源かん養、災害防止などの機能がクローズアップされてきています。

「とやまの森林」を荒廃から守り、未来に引き継ぐための対策について、県民のみなさんのご意見をお聞かせください。

### 【森林に期待する機能について】

問1 森林の持つ多様な機能のうち、今後とも重点的に守っていくべきものは、どのようなものだと思いますか。次の中から3つまであげてください。

1. 木材やきのこなどを生産する働き
2. 緑のダムとして水資源を蓄える働き
3. 山崩れや洪水などの災害を防止する働き
4. 二酸化炭素を吸収したり、大気を浄化したりする働き
5. クマなどの野生動物や多様な植物の生息の場としての働き
6. 心の安らぎ・レクリエーションの場や野外における教育の場を提供する働き
7. その他 ( )

### 【森林の現状について】

問2 あなたは、富山県内の森林の現状をどう思いますか。次の中から1つあげてください。

1. かなり荒廃が進んでいる
2. 少し荒廃が進んでいる
3. 適正に管理されている
4. 現状について知らない
5. その他 ( )





問6 県民が幅広く森林づくりに参加していくための税として、仮に、あなたが費用を分担するとしたら、年間どのくらいなら協力してもよいと思いますか。次の中から1つあげてください。

1. 年間500円程度
2. 年間1000円程度
3. 年間1500円程度
4. 年間2000円程度
5. その他 ( )

その他ご意見がありましたら自由にお書きください。

※引き続き、次の頁もお答えください。

ご意見をお伺いするのは、これで終わりですが、お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたご自身についてお聞かせください。

**F 1 あなたの性別は。**

1. 男性                      2. 女性

**F 2 あなたの年齢は満でおいくつですか。**

1. 20～29歳            2. 30～39歳            3. 40～49歳  
4. 50～59歳            5. 60～69歳            6. 70歳以上

**F 3 あなたの職業は。**

1. 農林漁業              2. 自営業              3. 給与所得者  
4. 主婦                    5. 学生                    6. 無職

**F 4 あなたの居住地は。**

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 富山市 (旧富山市)  | 2. 富山市 (旧大沢野町) | 3. 富山市 (旧大山町)  |
| 4. 富山市 (旧八尾町)  | 5. 富山市 (旧婦中町)  | 6. 富山市 (旧山田村)  |
| 7. 富山市 (旧細入村)  | 8. 高岡市         | 9. 新湊市         |
| 10. 魚津市        | 11. 氷見市        | 12. 滑川市        |
| 13. 黒部市        | 14. 砺波市 (旧砺波市) | 15. 砺波市 (旧庄川町) |
| 16. 小矢部市       | 17. 南砺市 (旧城端町) | 18. 南砺市 (旧平村)  |
| 19. 南砺市 (旧上平村) | 20. 南砺市 (旧利賀村) | 21. 南砺市 (旧井波町) |
| 22. 南砺市 (旧井口村) | 23. 南砺市 (旧福野町) | 24. 南砺市 (旧福光町) |
| 25. 舟橋村        | 26. 上市町        | 27. 立山町        |
| 28. 宇奈月町       | 29. 入善町        | 30. 朝日町        |
| 31. 小杉町        | 32. 大門町        | 33. 下村         |
| 34. 大島町        | 35. 福岡町        |                |

**F 5 あなたの居住環境は。**

1. 市街地、郊外            2. 農山村地域

**F 6 あなたの家では森林を持っていますか。**

1. 持っている              2. 持っていない

**※ご協力ありがとうございました。**

ご回答済みのこの調査用紙は、お手数ですが、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ切手を貼らずに、平成17年8月8日(月)までに最寄りのポストにお入れください。

平成17年8月

## 『森づくりに関する森林所有者アンケート』について（お願い）

富 山 県

日頃より、県政についてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
さて、県では、「とやまの森林」を荒廃から守り、未来に引き継ぐための対策について検討しているところです。その取りまとめにあたりまして、県内に森林を所有されている方々の森づくりに関する意向を反映させるため、県内に森林を所有されている方を対象としたアンケートを実施することといたしました。

この調査は、県内に森林を所有されている方々の中から無作為に1000人を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。お答えいただきました内容は、調査の目的以外に使用することはありませんので、あなたご自身のご意見をご記入ください。

ご面倒とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

### 調査票のご記入にあたって

1. この調査は無記名方式です。調査票にも返信用封筒にも、お名前を記入していただく必要はありません。
2. 回答はあて名の方ご自身をご記入ください。
3. 回答の方法は、あてはまると思うものの番号に○をつける方式です。
4. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**8月10日（水）までにポストにお入れください。**切手を貼る必要はありません。

#### 【お問い合わせ先】

富山県農林水産部森林政策課みどり企画係  
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号  
電話 076-444-3385（直通）

## 森づくりに関する森林所有者アンケート

昨年は、クマがたくさん出現し、県内でも死者や重傷者が出ました。これは、森林の荒廃と関係があるとも言われています。森林は木材生産の場でもありますが、最近では、地球温暖化防止、水源かん養、災害防止などの機能がクローズアップされてきています。

「とやまの森林」を荒廃から守り、未来に引き継ぐための対策について、県内に森林を所有されているみなさんのご意見をお聞かせください。

**問1** あなたの所有されている森林に行ったのはいつですか。次の中から1つあげてください。

1. ここ1～2年以内のうちに行った
2. 3年～10年以内のうちに行った
3. 10年以上行ったことがない
4. 一度も行ったことがない

**問2** あなたの所有されている森林の手入れをしていますか（森林組合などへの施業委託も含む）。次の中から1つあげてください。

1. している
2. 以前は手入れをしていたが、最近はしていない
3. 手入れの必要がない（天然林、高齢級人工林など）
4. していない

**問3** あなたの所有されている森林の現状をどう思いますか。次の中から1つあげてください。

1. かなり荒れていると思う
2. 少し荒れていると思う
3. 適正であると思う
4. わからない

問4 あなたの所有されている森林について、今後、どのようにしていきたいと思いませんか。次の中から1つあげてください。

1. 積極的に手入れを行いたい
2. 支援があれば手入れを行いたい
3. 手入れの必要はない（天然林、高齢級人工林など）
4. 手入れが必要であるが手入れを行うつもりはない（→問5へ）
5. わからない

問5 問4で「4. 手入れが必要であるが手入れを行うつもりはない」をあげた方にお聞きします。

自己負担がなければ、森林の手入れを行いますか。次の中から1つあげてください。

1. はい
2. いいえ  
理由（ ）
3. その他（ ）

問6 森林の手入れを行うため、どのような支援があればよいと思われますか。次の中から2つまであげてください。

1. ボランティアなどの労働力
2. 技術の指導
3. 機材の貸与や資材（苗木など）の提供
4. 森林の手入れや再造林などへの資金
5. 林道、作業道、歩道などの整備
6. 森林境界の確定
7. その他（ ）

問7 県民参加の森林づくりを進めていく動きもありますが、あなたは、市町村や地域と協定を結んだうえで、森林ボランティアが無償で森林づくりを行うことについてどう思いますか。次の中から1つあげてください。

1. 積極的に活用したい
2. 活用したいが、施業技術等が不安である
3. 活用したくない

理由 ( )

4. その他 ( )

問8 森林所有者が提供する森林を、希望する人が利用料を払って森林整備やきのこの収穫など楽しむ仕組み（里山林オーナー制度）があります。あなたは、この方法で森林の手入れを行うことについてどう思いますか。次の中から1つあげてください。

1. 積極的に活用したい
2. 活用したいが、施業技術等が不安である
3. 活用したくない

理由 ( )

4. その他 ( )

その他ご意見がありましたら自由にお書き下さい。

※引き続き、次の頁もお答えください。

ご意見をお伺いするのは、これで終わりですが、お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたご自身や所有されている森林についてお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。

1. 男性                      2. 女性

F 2 あなたの年齢は満でおいくつですか。

1. 20～29歳              2. 30～39歳              3. 40～49歳  
4. 50～59歳              5. 60～69歳              6. 70歳以上

F 3 あなたの居住地は。

1. 県内                      2. 県外

F 4 あなたの所有するおもな森林の種類は。

1. 人工林                  2. 天然林                  3. 人工林、天然林ほぼ同面積

F 5 あなたの所有する森林の面積は。

1. 1ha未満                  2. 1～5ha未満              3. 5～10ha未満  
4. 10ha以上

F 6 あなたの所有するおもな森林へ行くには、自宅からどのくらい時間がかかりますか。

1. 30分以内                  2. 30分～1時間以内              3. 1～2時間以内  
4. 2時間以上

F 7 あなたの所有するおもな森林と道路との位置関係は。

1. 道路に隣接している              2. 道路と離れている

F 8 あなたの所有する人工林の林齢は。(天然林のみ所有の方は回答の必要はありません)

1. 35年生以下                  2. 35年生以上                  3. わからない

F 9 あなたの森林を管理していく後継者はいますか。

1. いる                      2. いない                      3. わからない

## 用語集

用 語	説 明 文
魚つき保安林	海岸線や河川、湖沼の周辺で、魚類の棲息と繁殖を助けることを目的に指定された保安林。水面に陰をつくったり、養分の豊かな水を供給することで魚の繁殖を助けるほか、降雨時は土砂の流出を防ぎ、水質の汚濁を防止する役割もある。
枝打ち	節のない木材を生産すること等を目的に、立木の枝を切り落とす作業
奥山林	日常的に人との関わりが薄く、人里や道路から離れた山奥に位置する森林
皆伐	一定範囲の樹木を一時に全部又は大部分伐採することで主伐の一種
学校林	学校の基本財産形成を図るとともに、児童、生徒の自然体験や環境教育などで利用することを目的に、学校等が管理を行っている森林
間伐	育成段階にある森林内における樹木の混み具合に応じて、育成目的の樹木の密度を調整するために伐採(間引き)する作業。植栽木の木材的価値を高めるとともに、林内を明るくして森林の有する多面的機能を維持・向上させる。この作業により生産された丸太が間伐材。一般に、除伐後、主伐までの間に育成目的に応じて間断的に実施。
強度間伐	十分な照度による下層植生の回復を重視し、通常の間伐よりも高い比率で伐採すること
公益的機能	社会公共に利益をもたらす機能で、水の貯蓄、洪水防止、気候緩和、二酸化炭素吸収、野生動植物保護、保健教育等の機能をいう。
更新	伐採等により樹木が無くなった箇所に、植林を行うこと等により新しい森林をつくること。
高性能林業機械	伐採された樹木の枝を払い、一定の長さに切断するなど、複数の作業工程を処理する林業機械。主な高性能林業機械は、フェラーパンチャ、スキッド、プロセッサ、ハーベスタ、フォワーダ、タワーヤード等
国有林	国が所有する森林
作業道	林道等から分岐し、立木の伐採、搬出、造林等の作業を行うために作設される簡易な構造の道路
里山林	農山村の居住地近くに広がり、薪炭材の伐採、落葉の採取等を通じて地域住民に利用されている、あるいは利用されていた森林
里山オーナー制度	森林所有者から提供された里山林などを利用しやすい区画に区切って、市民などが使用料を支払ってオーナーとなり、山村住民と都市住民の交流により、森づくりをはじめとした里山の多様な利用を目指すもの。
G I S	Geographic Information System(地理情報システム)の略で、地図や空中写真等の森林の位置や形状に関する図面情報と、林種や林齢等の文字・数値情報を、コンピュータ上で総合的に管理、分析、処理するシステム。地図上に様々な情報を重ね合わせて表示し、関連づけて解析できる。
下刈	植栽した苗木の生育を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業。一般に植栽後の数年間、毎年、春から夏の間実施
主伐	建築材等に利用できる時期(伐期)に適した樹木を伐採し収穫することで、次の世代の樹木の育成を伴う。
循環型社会	環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、それを有効に使うことによって、廃棄されるものを最小限におさえる社会。自然の循環(自然生態系)に大きな負荷を与えず、その再生に人間が積極的に関与する。
循環型木材生産林	持続的な木材生産を目指す、道から近く生産力のある人工林



用語	説明文
除伐	育成の対象となる樹木の生育を妨げる他の樹木を刈り払う作業。一般に、下刈を終了してから、植栽木の枝葉が茂り、互いに接し合う状態になるまでの間に数回実施
針広混交林	スギやヒノキなどの針葉樹と、コナラなどの広葉樹が混生している森林をいう。
人工林	人為的に植栽し、造成された森林
人工造林(植林)	苗木の植栽、種子のまき付け、挿し木等の人為的な方法により森林を造成すること
薪炭林	薪及び木炭の原材料となる木材の生産を目的とする森林で、主に伐採後の株から萌芽により更新する。
森林環境教育	森林林業をテーマとして体験を重視しながら行う環境教育、森での体験を通して豊かな人間形成を目指す体験教育で、知識、体験を問わず森林や林業に関して学ぶこと
森林整備	森林施業とそのために必要な施設(林道等)の作設、維持を通じて森林を造成すること
森林施業(施業)	目的とする森林を造成、維持するための造林、保育、伐採等の一連の森林に対する人為的行為
森林のもつ多面的機能	森林のもつ国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給等の機能
森林バイオマス	木材(丸太)を生産する過程で森林内で発生する間伐材や端材、工事に伴う支障木等のほか、公園の樹木の剪定枝等も含め、燃料等の資源として利用できるクリーン(自然の樹木と同じ状態で、樹脂の注入等がされていないこと)でピュア(建築廃棄物のように混合物がないこと)な森林資源
水源かん養	雨水を蓄え、湧水を緩和するとともに、地表流出水の減少を図り、洪水を防止する機能
生物多様性	生物多様性とは、地球上に存在する多様な生物すべてに違いがあることを意味し、大きく「生態系の多様性」「種の多様性」「種内の多様性」に分けられる。
遷移	時間の経過にともなって植物の構成が移り変わる現象
択伐	森林内の樹木の一部を抜き伐りすることで、主伐の一種
長伐期施業	通常の主伐林齢(例えばスギの場合40年程度)のおおむね2倍に相当する林齢を超える林齢で主伐を行う森林施業
長伐期林	伐採年齢を通常の倍(40~60年 80~100年)に延ばし、下層植生と表土を安定させる森林
天然更新	植林等の人為によらずに森林の造成を行うこと。自然に落ちた種子の発芽や樹木の根株からの萌芽等による方法がある。必要に応じて、ササ類の除去等の人手を補助的に加えることもある。
天然生林施業	森林を自然の推移に委ね、主として天然更新等の自然の力を活用して森林(天然林)を造成する森林づくりの方法
天然林	天然更新によって成立した森林
土壌の流出	雨や風の作用で表土が流されること。養分の多く含まれた土壌が流出することにより土地がやせるほか、下流部では土壌の過度な堆積を生じる原因となる。
二次林	その土地本来の植生が、災害や人為などによって置き換えられた発達途中の森林状態のことで、本県の丘陵地帯での潜在植生はウラジロガシなどの常緑広葉樹であり、二次林の多くはコナラ・アカマツ林となっている。
バイオマス	木材や稲わらなどの生物に由来する持続的に再生産可能な資源
伐期	主伐が予定される時期
不在村者所有森林	所有者が森林の所在地と異なる市町村に居住している森林

用語	説明文
分収林制度	森林の土地所有者と造林又は保育を行う者の2者、あるいは、これらに費用負担者を加えた3者で契約を結び、植栽や保育等を行い伐採時に収益を一定の割合で分け合う制度。分収林は、植付けの段階から契約を結び「分収造林」と育成途上の森林を対象に契約を結び「分収育林」に大別
ペレット (燃料)	製材端材や間伐材などを破砕した木片をさらに粉碎、乾燥、圧縮し、円柱状に成形した固形燃料のこと。運搬や保存が容易で燃焼効率が高い。
保安林	水源のかん養等特定の公共目的を達成するため、森林法に基づき、農林水産大臣又は部道府県知事によって指定される森林。伐採や土地の形質の変更が制限される。
保育	植栽を終了してから伐採するまでの間に、樹木の生育を促すために行う下刈、除伐等の作業の総称
保健・教育等の機能	森林浴、レクリエーションなどの場、自然学習実践の場としての利用により、人々に安らぎ与え、自然環境の大切さを伝える文化的機能
民有林	国以外の個人、法人、地方公共団体等が所有している森林。個人や法人が所有する私有林と地方公共団体が所有する公有林に分かれる。
リモートセンシング技術	地球観測衛星などのように、離れたところから、対象物に直接触れずに対象物の大きさ、形、性質を観測する技術
林家	林業を営む世帯。世界農業センサスでは、1ha以上の山林を所有する世帯
林業経営体	森林から産出される林産物(木材・きのこ等)により経営活動を行う林家、林業会社、地方公共団体等
林業事業体	林業経営体からの委託等により、素材生産、森林整備等行う森林組合、造林業者、木材生産者等
林産物	林野から生産または採取される産物。木材の他に薪や木炭、しいたけなどのきのこ類、樹液採取(うるし)などの特用林産物などがある。
齢級	林齢を一定の幅でくくったもので、一般的には5年をひとくりにしている。例えば1～5年生は1齢級
路網整備	森林施業をスムーズに行えるよう、適切な配置を考えて林道や作業道を開設すること
県民税	県民税は、県の行政経費の一部を広く多数の住民が負担し、その負担を通じて住民が自治行政に参画することを目的とした県の基幹税である。県民税には、個人県民税と法人県民税があり、個人県民税には、県民が等しく負担する均等割、その所得に応じて負担する所得割及びその他(利子割、配当割等)があり、法人には、法人の外形的規模に応じて負担する均等割及び法人税額に応じて負担する法人税割がある。
個人県民税 (均等割)	個人県民税均等割は、県内に住所がある人又は、住所はないが家屋敷、事業所等がある人が負担する。均等割は、所得にかかわらず一定の額を負担するものであり、税額は1,000円である。県民税均等割及び所得割は市町村民税と併せて徴収される。
法人県民税 (均等割)	法人県民税均等割は、県内に事務所を有する法人が負担する。法人の所得の有無にかかわらず、資本等の金額により一定の税額を負担するものである。税額は資本等の金額に応じ、年2万円～80万円まで5段階に分かれている。
標準税率	地方税法における税率の分類の一つ。地方税法によって地方団体が課税する場合に通常用いることとされている税率であるが、その財政上その他の必要があると認める場合においては、地方団体の判断によって標準税率と異なる税率を条例で定めることができる。
超過課税	地方団体が財政上その他の必要があると認める場合に、標準税率を超える税率により地方税を課税することをいう。超過課税を行う場合の税率を超過税率という。